三菱重工

空調管理システム

技 術 資 料

センターコンソール

SC-SL4-A/C

SC-SL4-B/C

4-548-1-D
'19-7 発 行

目　次

1. センターコンソール SC-SL4-A，SC-SL4-B …… 2
1.1 仕様 …… 2
1.2 操作・設定 …… 3
1.3 状態監視 …… 5
1.4 スケジュール設定 …… 5
1.5 管理・制御 …… 6
1.6 WEB監視機能 …… 8
1.7 外形図 …… 10
1.8 据付関連事項 …… 11
1.9 課金計算内容（SC-SL4-Bのみ） …… 16
1.10 SC-SL4-B用ユーティリティ …… 18
1.11 各ユーティリティソフトと適用機種一覧 …… 49
2. 接続例 …… 50

■ 集中制御機器の組合せ一覧

○接続可、×接続不可

	SC-SL1N	SC-SL2NA	SC-SL4-A (SL4-B)	SC-LGWNBJ	SC-WBGW256J
SC-SL1N	○ (*1)	○ (*1)	○ (*1)	○ (*2)	○ (*3)
SC-SL2NA	○ (*1)	○ (*1)	○ (*1)	○ (*2)	○ (*3)
SC-SL4-A,-B	○ (*1)	○ (*1)	○ (*1)	○ (*2)	○ (*3)
SC-LGWNBJ	○ (*2)	○ (*2)	○ (*2)	×	×
SC-WBGW256J	○ (*3)	○ (*3)	○ (*3)	×	×

(*1) SC-SL4-A，-BとSC-SL2NAとSC-SL1Nの組合せ
（スーパーリンク1系統当たり）

SC-SL4-A,B 接続個数	0				1			2		
SC-SL2NA 接続個数	0	1-2	3-4	5-8	0-2	3-4	5-8	0-2	3-4	5-8
SC-SL1N 最大接続個数	12	8	4	0	8	4	0	8	4	0

（新SLの場合。旧SLの場合の制限は各集中制御機器の仕様書でご確認ください。）

(*2) SC-LGWNBJとSC-SL4-A，-B，SC-SL2NAまたはSC-SL1Nとの組合せ

SC-LGWNBJ	SC-SL1N 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）	SC-SL2NA 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）	SC-SL4-A,-B 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）
1	4	1	1

（新SLの場合。旧SLの場合の制限は各集中制御機器の仕様書でご確認ください。）

(*3) SC-WBGW256JとSC-SL4-A，-B，SC-SL2NAまたはSC-SL1Nとの組合せ

SC-WBGW256J 最大接続個数	SC-SL1N 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）	SC-SL2NA 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）	SC-SL4-A,-B 最大接続個数（スーパーリンク1系統当たり）
1	8	4	0
1	8	2	1

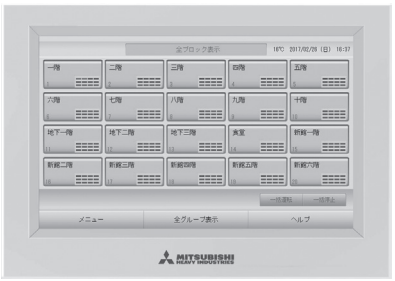
（新SLの場合。旧SLの場合の制限は各集中制御機器の仕様書でご確認ください。）

1. センターコンソール SC-SL4-A, SC-SL4-B

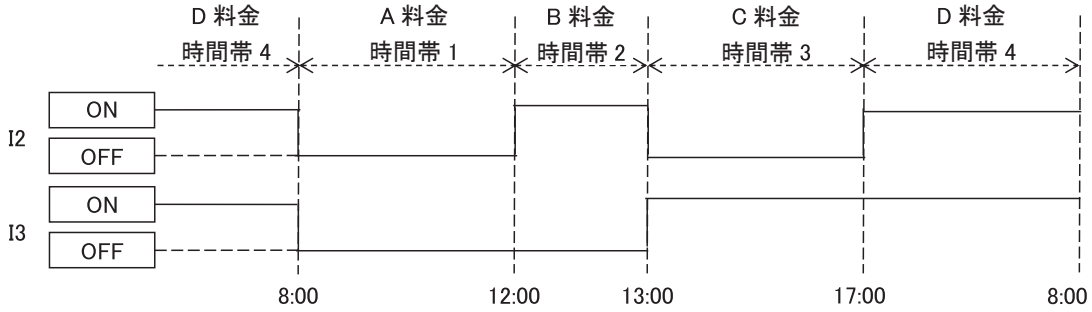
1.1 仕様

名称		センターコンソールSC-SL4-A	センターコンソールSC-SL4-B
形式(サービスコード)		SC-SL4-A(/C)	SC-SL4-B(/C)
適用機種		スーパーリンク対応室内ユニット　※1	
使用時周囲温度		0～40℃	
電源		単相100V,200～240V　50/60Hz	
消費電力		9W	
外形寸法(高さX幅X奥行)		172mm×250mm×(23+70)mm　※2	
質量		2kg	
表示,操作　※4※5		9インチワイド(WVGA)TFTカラー液晶,タッチパネル式	
室内ユニット最大接続可能台数		新SL:最大128台×1系統 旧SL:最大　48台/系統×3系統=144台	
入力	SL(スーパーリンク)信号入力	新SL:1系統,旧SL:3系統	
	ガス,電力パルス入力　※3	ー	8点　パルス幅80ms以上
	緊急停止信号入力　※3	1点　無電圧a接点入力　連続(レベル)入力 (閉:緊急停止)	
	デマンド信号/ 課金時間帯切替入力　※3	2点　無電圧a接点入力　連続(レベル)入力 (閉:デマンド制御) 1点又は2点を時間帯切替え入力として使用可能(SC-SL4-Bのみ)	
出力	一括運転出力	1点　最大定格電流40mA,DC24V 全停止時;開　一台でも運転ユニットがある場合;閉	
	一括異常出力	1点　最大定格電流40mA,DC24V 正常時;閉　一台でも異常ユニットがある場合;開　※6	
1ネットワーク内取付可能台数		新SL時:2台　　旧SL時:3系統で1台	

外観図



※1 新旧SL(スーパーリンク)対応室内ユニット及び,スーパーリンク参入用各種インターフェイス接続室内ユニットに適用可能。一部の機能は室内ユニットモデルによって使用できない場合があります。(次頁)
※2 70は埋め込み寸法です。
※3 SC-SL4-A, SC-SL4-B本体側の電源はDC12V(10mA)です。
※4 液晶バックライトの寿命は約8万時間です。
※5 タッチパネルは約1,000万回の耐久です。
※6 一括異常出力は,正常時:開,異常時:閉に変更可能です。電源OFF中または電源ON後(自動再起動を含む)起動するまでは開となります。
注(1) 本体付属の取付金具(表)(裏)をご使用ください。別売品の壁埋め込み用BOX SLA3R-BXと取付金具(表)の組合せでも設置可能です。
注(2) 課金機能が必要な場合はSC-SL4-Bをご使用願います。課金計算はお客様のパソコンで行って頂きます。尚,本ユニットの空調料金計算は,計量法によるものではありません。
PCの環境条件としては,以下のいずれかが必要となります。
Microsoft® Windows® 7 Service Pack 1以降
Microsoft® Windows® 8.1
Microsoft® Windows®10
注(3) 室内ユニット最大接続可能台数は接続ユニットモデルにより異なる場合があります。特にGHPを接続する場合はモデルによって台数制限がありますので,販売会社にご確認願います。
注(4) SC-SL4-B本体の時計機能により,課金時間帯を4分割設定することが出来ます。グループ毎に異なる設定はできません。
曜日毎に異なる時間帯を設定することは出来ません。この場合,外部入力による課金時間帯切替えを行うことで対応できます。デマンド信号入力/時間帯切替入力を1点または2点使用しますので,デマンド制御のレベル制御またはデマンド制御は行えなくなります。時間帯切替え用の外部タイマーは現地手配となります。
(設定例) 8:00～12:00を時間帯1(A料金),12:00～13:00を時間帯2(B料金),13:00～17:00を時間帯3(C料金),17:00～翌8:00を時間帯4(D料金)にしたい場合,下図のようにタイマー設定を行ってください。



新旧スーパーリンク（新旧SL）定義
新スーパーリンク（新SL）：ネットワーク接続機器が全て新スーパーリンク対応機種（LX3形以降。集中コントローラやI/FはN形以降。）で，かつSL設定が出荷時のまま（「新」もしくは「自動」）の場合。
旧スーパーリンク（旧SL）：新SLの条件にあてはまらないもの。ネットワーク接続機器の中に1台でもLX2形以前の機種や新SL対応でない機器が接続されている場合。

1.2 操作・設定

最大128（旧SLの場合は144）グループまでの操作・設定をグループ単位,一括で行えます。
一括で操作・設定する対象グループは予め設定しておく必要があります。
（注）ブロック単位での操作・設定はできません。

No.	項目	内容
1	運転/停止/るす番開始/るす番終了	運転,停止又はるす番（※7）開始/終了操作を行います。
2	運転モード	冷房,暖房,除湿,送風,自動（※1）を設定します。
3	温度設定	18℃～30℃（0.5℃単位）（※2）で設定します。 SL4で設定できる温度設定の範囲（上限値,下限値）を変更できます。全グループ共通（※3）となります。 冷房,除湿,送風,自動モード時の設定温度下限値を16℃～28℃,上限値を30℃～35℃に変更できます。 暖房時の設定温度下限値を10℃～18℃,上限値を22℃～30℃に変更できます。上限値,下限値の設定は1℃単位です。
4	リモコン操作機能別 許可禁止（※4）	リモコン操作の機能毎に許可/禁止を設定します。運転/停止操作,運転モード設定,温度設定の許可禁止を設定します。 リモコンタイマー操作の許可/禁止は,グループ設定された全室内ユニットを一括で設定します。
5	風量	パワフル（※5）,急,強,弱,自動（※6）を設定します。
6	風向	オートスイングON/OFF,ルーバー停止位置1～4を設定します。
7	フィルターリセット	フィルターサインのリセット（消灯）を行います。
8	点検リセット	運転または停止操作により,点検サイン（異常表示）を消灯します。
9	省エネ運転（※8）	設定温度シフトによる省エネ運転の開始/終了を設定します。

※1 自動モードは冷暖フリーマルチまたはセゾンタイプ（店舗機）と接続されている室内ユニット以外では使用しないでください。
※2 RCDタイプのリモコンが接続されている室内ユニットは0.5℃設定をするとその後のリモコン操作により設定温度が不正となることがありますので,1.0℃単位で設定してください。
※3 温度設定の範囲を変更できない,または制約のある室内ユニット,リモコンが混在する場合は,上限値および下限値を変更しないでください。
※4 機能毎の許可禁止機能はEHPはKXD4形,LX以降,スーパーリンクアダプタはSC-ADN以降,GHPはHMD6形以降の室内ユニットとRC-D2以降のリモコンとの組合せにより有効となります。
また,リモコン側で許可禁止設定をしてもSL4の設定に上書きされますのでかならずSL4側で設定してください。
SL4が複数もしくはSL3NまたはSL2Nが混在し,同じ室内ユニットを複数の集中制御機器で制御する場合は,許可禁止設定を合わせるか,許可禁止設定を行う集中制御機器を1台とし,他の集中制御機器のセンターリモート（許可禁止）設定を無効にしてください。
ワイヤレスリモコンには対応していません。
※5 風量のパワフルモードは,EHPは3LXD形以降室内ユニット,スーパーリンクアダプタはSC-ADNA以降,GHPはM8D形以降室内ユニットとの接続で有効となります。それ以前の室内ユニットとの組合せでは,パワフルモード設定は反映されません。
尚,SL4がパワフルモード「無効」設定でも,パワフルモードで運転中の室内ユニットはパワフルモードを表示します。
※6 風量の自動モードはFDT-3LXF以降とRC-DX1以降,4LX以降とRC-DX1以降,GHPは4M1以降とRC-DX1以降,の組合せで対応しています。
※7 留守にするときなど,お部屋が著しく高温あるいは低温にならないように温度を保つ機能です。外温により冷房/暖房を行います。設定温度,風量の設定ができます。
※8 SL4の省エネ制御により,室内機の設定温度をシフト（冷房,除湿時:+1～+3℃,暖房時:-1～-3℃）し,リモコンの設定温度操作を禁止します。
リモコン操作許可禁止設定が有効の場合のみ可能です。

◎制御切替え設定

切替え可能な設定は以下の通りです。

No.	項目	内容
1	バックライトOFF時間	最後のタッチパネル操作から,モニタのバックライトをOFFするまでの時間(分)を設定します。 1分～30分の範囲で設定します。
2	輝度	モニタのバックライトの輝度を設定します。
3	SL通信設定	通信仕様(新SLまたは旧SL)を設定します。
4	自動モード設定 有効/無効	運転モードの「自動」の設定有効/無効を設定します。
5	(リモコン)許可/禁止設定 有効/無効	手元リモコンの許可禁止設定は,SL4の設定が優先されます。 複数の集中制御機器で管理する場合,リモコン操作許可禁止設定が矛盾しないよう,SL4からの手元リモコン操作の許可/禁止設定を無効にすることができます。無効設定すると機能別許可禁止設定も無効になります。
6	(リモコン)機能別許可/禁止 設定有効/無効	手元リモコンの機能別許可禁止設定の有効/無効を設定します。無効設定すると機能別の許可禁止設定はできなくなり,全許可(センター&リモート)または全禁止(センター)のみ選択可能となります。
7	タイマー操作許可禁止設定	手元リモコンのタイマー設定操作を禁止にします。
8	フォルダ名指定	USBメモリにファイルを転送する際の保存フォルダ名を予め設定できます。複数台のSL4を管理する際に,上書きを回避できます。
9	一括異常出力(正常時)	正常運転時の接点状態を開または閉に設定します。
10	ファン速度設定	ファン速度を1速,2速(急-強),2速(急-弱),3速(急-強-弱),4速(パワフル-急-強-弱)のいずれかに設定します。
11	風量自動設定	風量の「自動」モードの設定可否を設定します。
12	設定温度上下限設定	設定温度の上下限を冷房時:下限16～28℃,上限30～35℃,暖房時:下限10～18℃,上限22～30℃の範囲で設定します。 設定温度監視の有効または無効を設定します。有効に設定すると,設定した上下限値を超える室内ユニットの設定温度を上下限値に変更します。
13	セキュリティロック設定	セキュリティロック設定を有効にするとバックライトOFFから復帰する際,IDとパスワードの入力が必要となります。 セキュリティロックが無効でも,SL4の電源ON後IDとパスワードの入力が必要となります。
14	デマンド・緊急停止設定	緊急停止解除後のスケジュール設定,デマンド解除後のスケジュール設定およびデマンド入力中のスケジュール設定動作の有効/無効を設定します。
15	空調機タイプ設定	空調機または非空調機を設定します。非空調機に設定すると,運転または停止のみの操作となります。
16	風向切換設定	風向設定の有効または無効を設定します。
17	画面イメージ設定	白または黒を設定します。
18	異常時バックライトON 設定	1台以上の室内ユニットが異常時にバックライト点灯の有効または無効を設定します。
19	管理用データ記録	空調機データ(運転/停止,設定温度,室内温度,室外温度)記録の有効または無効を設定します。

◎他の集中制御機器との併用

・新SLおよび旧SL時のSL1N,SL2Nの接続制限は以下の通りです。ただし,各集中制御機器同士(SL4同士,SL2N同士,SL1N同士)で制御する室内ユニットが重複しないことが条件となります。SL3NはSL4と同等の扱いとなります。

新SL時

SL4, SL3N	2	2	2
SL2N	2	4	8
SL1N	8	4	0

旧SL時

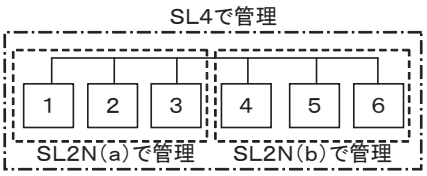
SL4	1	1
SL2N	1(×3) (*1)	0
SL1N	0	3(×3) (*1)

*1 旧SL時は3つの通信系統が使用可能。
通信系統毎に表に記載の台数が接続可能です。

・同じ室内ユニットを複数の集中制御機器で制御する場合,重複した室内ユニットの許可/禁止(センター/リモート)設定を一致させてください。または,許可/禁止設定を行う集中制御機器が1台となるよう,許可/禁止設定の有効/無効を切換えてください。

右図の例のように,メインの集中制御機器をSL4とし,他の集中制御機器SL2N(a),SL2N(b)から許可/禁止(センター/リモート)設定ができないよう,SL2Nの許可禁止設定を無効にしてください。SL2Nをメイン機と設定することも可能です。

尚,外部入力(緊急停止,デマンド)を行う場合は,外部信号をメイン機に入れるようにしてください。



1.3 状態監視

状態監視をブロック単位(運転状態,故障のみ監視),グループ単位,空調機単位で行うことができます。

No.	項目	内容
1	運転状態	空調機の運転・停止・るす番状態を監視します。 1台以上の運転/るす番にて運転/るす番,全台停止で停止と表示します。
2	運転モード	代表空調機の運転モード設定を表示します。
3	温度設定	代表空調機の設定温度を表示します。
4	室温	代表空調機の吸込温度を表示します。
5	リモコン操作機能別 許可禁止	代表空調機のリモコン操作の機能別許可/禁止状態を表示します。運転/停止操作の許可/禁止,運転モード設定の許可/禁止および温度設定の許可/禁止を表示します。(リモコン側で許可禁止の設定を変更してもSL4の設定内容に上書きされます。)
6	風量	代表空調機の風量設定を表示します。
7	風向	代表空調機のオートスイングON/OFF設定,ルーバー停止位置設定を表示します。
8	フィルターサイン	1台以上のフィルターサイン点灯でフィルターサインアイコンを表示します。 全台フィルターサイン消灯でフィルターサインアイコンを消灯します。
9	メンテナンス (※) (定期点検,定期点検1, 定期点検2,バックアップ)	1台以上の<定期点検,定期点検1,定期点検2,バックアップ>いずれか発生でメンテナンスアイコンを表示します。 全台<定期点検,定期点検1,定期点検2,バックアップ>解除でメンテナンスアイコンを消灯します。 定期点検,定期点検1,定期点検2,バックアップ運転の4種類があります。 表示の優先順位は下記となります。どのメンテナンスが発生しているかは空調機単位の監視画面にて確認できます。 バックアップ運転>定期点検1>定期点検2>定期点検
10	故障(異常)	1台以上の故障発生で故障アイコンを表示します。 全台正常の場合,故障アイコンを消灯します。
11	外温	外気温を表示します。外気温表示用の室外ユニットを最大3台まで選択できます。選択された室外ユニットの外気温の平均値を表示します。

※ 運転時間が9800時間以上で定期点検2,10000時間以上で定期点検1と表示します。(GHPのみ)

1.4 スケジュール設定

運転スケジュールはグループ単位で設定します。1日に16スケジュール(*)まで,運転/停止/るす番,運転モード,リモコン操作許可禁止,設定温度,省エネ,静音(※1)を設定することができます。時刻は分単位で設定できます。

No.	項目	内容
1	年間スケジュール	平日・休日・特日1・特日2の中から設定します。(1年分の設定が可能。翌年には反映されませんので毎年設定が必要です。)
2	当日スケジュール	当日のみ有効となるスケジュールを設定します。当日スケジュールは,他のスケジュール(年間・特定日)よりも優先されます。
3	特定日設定	年間スケジュールで使用する平日・休日・特別1・特別2の各スケジュールの詳細を設定します。
4	季節設定	季節設定をしたグループの運転モード(冷房,除湿,暖房,冷暖自動(※2))と設定温度をグループ毎に一括変更します。

※1 室外ユニットの静音性を優先して制御します。4LX形以前の室内ユニット及びスーパーリンクアダプタSC-ADNA以前との組合せでは反映されません。

※2 室内ユニットの運転モードを,外温により決定します。

(*) スケジュール設定例

	時刻	運転/停止	操作禁止	モード	設定温度	省エネ	静音
1	7:50	運転	全許可	冷房	28℃	―	開始
2	9:40	停止	全禁止	―	―	開始	終了
3	10:00	―	全許可	―	28℃	―	―
・							
16	23:00	停止	全禁止	―	―	終了	―

1.5 管理・制御

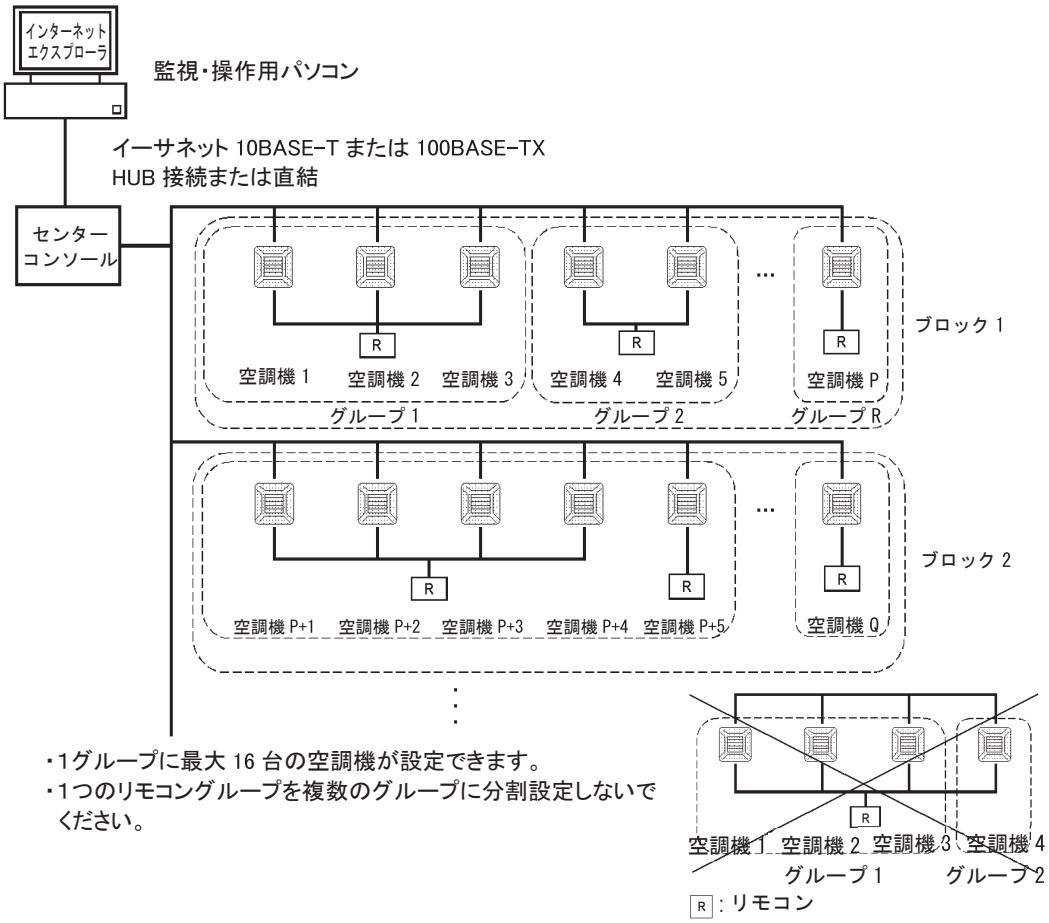
No.	項目	内容
1	ブロック定義	ブロック名称と構成グループを設定します。ブロックに登録するグループはあらかじめグループ定義で設定されている必要があります。ブロック設定されていないグループは,全ブロック表示からの詳細設定・状態表示ができません。初期状態は全ブロック未定義の状態です。 ・最大ブロック数:20,1ブロック当りの最大グループ数:12,ブロック名最大文字数:全角8文字(半角英数字16文字)※1 JPEGファイル(拡張子".jpg",最大780(横)×315(縦)pixel)を読み込み,グループアイコンを配置できます。
2	グループ定義	グループ名称と構成空調機(最大16台/グループ),代表空調機,一括操作対象/非対象,省エネ,風向切換,デマンド制御レベル(※4),空調機タイプ,ファン速度,グループアイコン(※5)を設定します。グループ設定されていない空調機は,本機の管理対象外になります。初期状態では1グループにつき1台の空調機が割当てられ,グループ名に空調機番号が充てられます。 ・最大グループ数:128(旧SLの場合は144,1グループ最大空調機数:16,グループ名最大文字数:全角8文字(半角英数字16文字)※1
3	空調機定義※2	課金データ計算用の空調機種別,能力(容量)を設定します。
4	日時設定	時計を設定します。年(西暦)/月/日/時(24時間形式)/分で設定します。NTP(Network Time Protocol)の有効/無効を設定します。
5	異常履歴	空調機単位での異常発生・復旧の履歴を最大300件表示します。SL4の電源OFFで消去されます。
6	課金時間帯設定 ※2	課金時間帯1～4を設定します。全曜日,全グループ同一の設定となります(曜日毎やグループ毎に異なる設定はできません)。 時間帯毎で異なる料金単価を設定し空調料金を計算することができます。 外部入力による課金時間帯切替えを選択した場合,本設定は無効となります。
7	外部入力による課金時間帯切替制御※3	課金時間帯切替を外部入力により行います。これにより曜日毎に課金時間帯を切替える事が可能となります。 グループ毎に異なる設定はできません。またデマンド入力端子を1点使用する場合は,デマンド制御のレベル制御は使用できなくなります。デマンド入力端子を2点使用する場合は,デマンド制御はできなくなります。 外部タイマー推奨品: Panasonic ㈱製 TB262101K(週間式),TB24101(年間式)
8	課金用運転データ積算※2	空調機毎の運転時間,運転量(課金計算用データ)を時間帯1～4に分けて1分毎に積算し,10分毎にファイル保存します。
9	デマンド制御	2点のデマンド入力により3段階のデマンド制御を行います。デマンド信号入力により一旦デマンド制御に入った場合,2分間デマンド状態を保持します。デマンド信号解除でデマンド制御に入る直前の状態(運転モード,リモコン操作許可禁止設定)に戻します。 デマンド入力中のスケジュール運転の有効/無効を選択できます。 デマンド入力(I2) / デマンド入力(I3) / デマンドレベル OFF / OFF / 解除 ON / OFF / 1 OFF / ON / 2 ON / ON / 3 各デマンドレベルで,設定温度シフト制御又は送風制御を選択できます。グループ毎に異なる設定はできません。 【設定温度シフト制御】 予めデマンドレベルが設定されている空調機の設定温度を,デマンド制御に入る直前の空調機の設定温度を基準にシフトし,リモコン操作を禁止します。自動,送風モードはシフトしません。シフト値は,1～9℃(冷房及び除湿時:+1～+9℃,暖房時:-1～-9℃)から選択し,運転モード毎に異なる設定はできません。 温度シフトした結果,設定温度の上下限値を超える場合は上下限値をシフト値とします。デマンド制御解除時に元の設定温度に戻します。 【送風制御】 予めデマンドレベルが設定されている空調機を「送風」「リモコン操作禁止」にします。 各デマンドレベルで,ピークカット制御(※6)の有効/無効を選択できます。グループ毎に異なる設定はできません。 【ピークカット制御】 予めデマンドレベルが設定されている空調機の制限率(0%,40%,60%,80%)を設定します。

<table>
<tr><th>No.</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>9</td><td>デマンド制御</td><td>
T₀：デマンド制御に入る直前の設定温度
<table>
<tr><td colspan="2">例1</td><td>レベル1</td><td>レベル2</td><td>レベル3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定内容</td><td>設定温度シフト制御又は送風制御</td><td>設定温度シフト制御(1℃)</td><td>設定温度シフト制御(2℃)</td><td>送風制御</td></tr>
<tr><td>ピークカット制御</td><td>無効</td><td>無効</td><td>無効</td></tr>
<tr><td rowspan="4">制御内容</td><td>D1 設定空調機</td><td>設定温度：(T₀+1)℃</td><td>設定温度：(T₀+2)℃</td><td>運転モード：送風</td></tr>
<tr><td>D2 設定空調機</td><td>-</td><td>設定温度：(T₀+2)℃</td><td>運転モード：送風</td></tr>
<tr><td>D3 設定空調機</td><td>-</td><td>-</td><td>運転モード：送風</td></tr>
<tr><td>デマンド非対象空調機</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="2">例2</td><td>レベル1</td><td>レベル2</td><td>レベル3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定内容</td><td>設定温度シフト制御又は送風制御</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr>
<tr><td>ピークカット制御</td><td>80%</td><td>60%</td><td>40%</td></tr>
<tr><td rowspan="4">制御内容</td><td>D1 設定空調機</td><td>ピークカット制御：80%</td><td>ピークカット制御：60%</td><td>ピークカット制御：40%</td></tr>
<tr><td>D2 設定空調機</td><td>-</td><td>ピークカット制御：60%</td><td>ピークカット制御：40%</td></tr>
<tr><td>D3 設定空調機</td><td>-</td><td>-</td><td>ピークカット制御：40%</td></tr>
<tr><td>デマンド非対象空調機</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>10</td><td>緊急停止</td><td>外部からの緊急停止信号でグループ設定されている全ての空調機を「停止」「リモコン操作全禁止」にします。緊急停止信号解除で手元許可禁止設定を元の状態に戻しますが,全機「停止」のままとなります。但し,スケジュール設定されているグループは設定により解除時刻以前で最も近いスケジュール設定とすることもできます。最も近いスケジュール時刻に,運転/停止,運転モード,リモコン操作許可禁止,設定温度の項目の中で無設定(“-”表示)の場合は,解除時刻前の最も近い時刻の設定指示に従います。
緊急停止信号入力により一旦緊急停止制御に入った場合,2分間緊急停止状態を保持します。</td></tr>
<tr><td>11</td><td>復電制御</td><td>復電時,スケジュール設定されているグループに対し復電時刻以前で最も近い当日スケジュール運転を行います。
最も近いスケジュール時刻に,運転/停止,運転モード,リモコン操作許可禁止,設定温度の項目の中で無設定(“-”表示)の場合は,復電時刻前の最も近い時刻の設定指示に従います。該当日のスケジュール設定が無い場合は,SC-SL4-A, SC-SL4-Bから各室内ユニットに復電制御を行わず,空調機の状態に従い表示を更新します。
但し,リモコン操作許可禁止設定は室内ユニットの設定に依らず全許可となります。</td></tr>
<tr><td>12</td><td>停電補償</td><td>グループ定義,ブロック定義,空調機定義,年間スケジュール設定,特定日設定,季節設定,課金時間帯,機能設定,当月および過去11か月分の課金データファイルを不揮発性メモリにより補償します。
停電前の各室内ユニットの運転/停止及び設定内容は保持されません。(運転モード,設定温度,リモコン操作許可禁止設定等)</td></tr>
<tr><td>13</td><td>システム情報</td><td>システム情報画面にてソフトウェアバージョン,管理ブロック数,グループ数,ユニット数,IPアドレスが確認できます。</td></tr>
<tr><td>14</td><td>WEB監視機能</td><td>本体に接続された空調機をパソコン上のWEBブラウザ画面から監視・操作できます。</td></tr>
<tr><td>15</td><td>ID,パスワード設定</td><td>「管理者」「メンテナンスユーザ」「グループユーザ」の3種類のID,パスワードを設定できます。※7</td></tr>
<tr><td>16</td><td>運転時間グラフ</td><td>グループ毎の運転モード別運転積算時間を1日毎に31日分グラフにして表示します。</td></tr>
<tr><td>17</td><td>消費エネルギー量グラフ</td><td>グループ毎の積算消費エネルギー量を日毎,月毎,年毎にグラフにして表示します。
(SC-SL4-Bのみ)</td></tr>
<tr><td>18</td><td>フリーフロー設定</td><td>各吹出口のルーバの動作範囲(上限位置･下限位置)を設定します。</td></tr>
<tr><td>19</td><td>運転データ表示</td><td>室内ユニットと室外ユニットの運転データを確認できます。(メンテナンスユーザのみ)</td></tr>
<tr><td>20</td><td>ビル監視盤との通信</td><td>XML通信に対応しています。</td></tr>
</table>

※1 カタカナは全角として扱います。
※2 SC-SL4-Bのみ設定可能。課金計算(エネルギー消費量の按分計算および料金計算)は付属の計算ソフトで行います。
SC-SL4-B本体が何らかの異常で動作できず,課金計算が実施できない場合,その責任は負いかねますので予めご了承願います。
※3 選定された市販タイマーの誤動作等による空調料金計算不良に関して,当社は保証致しかねますので,ご了承ください。
※4 レベル1の時はD1設定の空調機がデマンドレベル1の設定,レベル2の時はD1とD2設定の空調機がデマンドレベル2の設定,
レベル3の時はD1, D2, D3設定の空調機がデマンドレベル3の設定の制御対象になります。
※5 室内ユニットの形式によりアイコンを決定する事もできます。
※6 ピークカット制御は, AUCV(R)(S)P2804DA又は店舗機のSA型以降室内ユニットとの接続で有効となります(EHPのみ)。
※7「管理者」が変更できる項目は限定されます。「グループユーザ」は登録グループをWEBブラウザで監視・操作できます。「管理者」「メンテナンスユーザ」は全てのグループを監視・操作できます。
詳細は取扱説明書を参照ください。

1.6 WEB監視機能

・SC-SL4-A, -B本体に接続された空調機をパソコン上のWEBブラウザ画面から監視・操作ができます。
・下図は本システムの基本的なシステム構成です。エアコンに接続したSL4本体は,監視・操作用のパソコンとLANケーブルで直結されています。
・本WEB監視はグループ単位での監視・操作が可能です。ブロック単位での監視・操作はできません。ブロックの設定はSL4本体側で行ってください。
・無線アクセスポイント(Wi-Fi)とSL4本体をLANケーブルで接続し,無線LAN経由でタブレットPCのブラウザ画面から監視・操作ができます。



WEB 監視システム構成図

パソコンの仕様

本製品と組み合わせて使用するパソコンは,本システムの提供範囲外です。
パソコンは,以下の性能以上のものが必要です。
・CPUクロック:Pentium 500MHz 以上(2GHz 以上を推奨)
・メモリ :512MB 以上(1GB以上を推奨)
・画像解像度 :1280×1024以上(1366×768を推奨)

OS・WEBブラウザ

パソコンのOSとWEBブラウザは,以下の組合せとします。
表で示す以外の組合せで使用する場合は,販売代理店にご相談ください。

OS	Internet Explorer 10	Internet Explorer 11	Edge
Windows® 7	×	○	×
Windows® 8	×	×	×
Windows® 8.1	×	○	×
Windows® 10	×	○	○(※※)

○:使用可 ×:使用不可

※動作が不安定になる場合があります。ブラウザを定期的に再起動してご使用ください。
※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
※※検証バージョン:Edge 25.10586.0.0。
一部の画面でInternet Explorer の表示と異なることがありますが,操作に影響はありません。

タブレットPC(アップル社製iPad)のOSのバージョンは,iOS 8で動作確認しております。

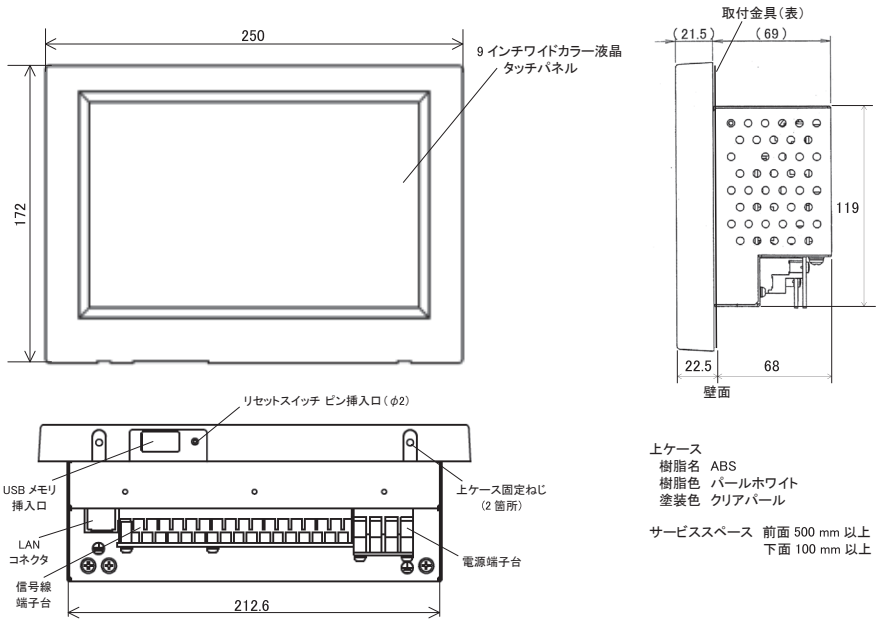
接続方法について

・直接接続の場合
LANケーブルを使って,本製品とパソコンを直接接続してください。HUBを使用する場合は,そのHUBには他の機器を接続しないでください。

・インターネットまたはビル用イントラネットへ接続する場合
SL4をインターネット経由で接続する場合,VPN(バーチャル・プライベート・ネットワーク)等の専用回線をご利用ください。
ビル用イントラネット(オフィス用LAN)に接続する場合は,そのビルのネットワーク(LAN)管理者にご相談ください。固定IPアドレスの設定,サブネットマスクを設定する必要があります。

1.7 外形図

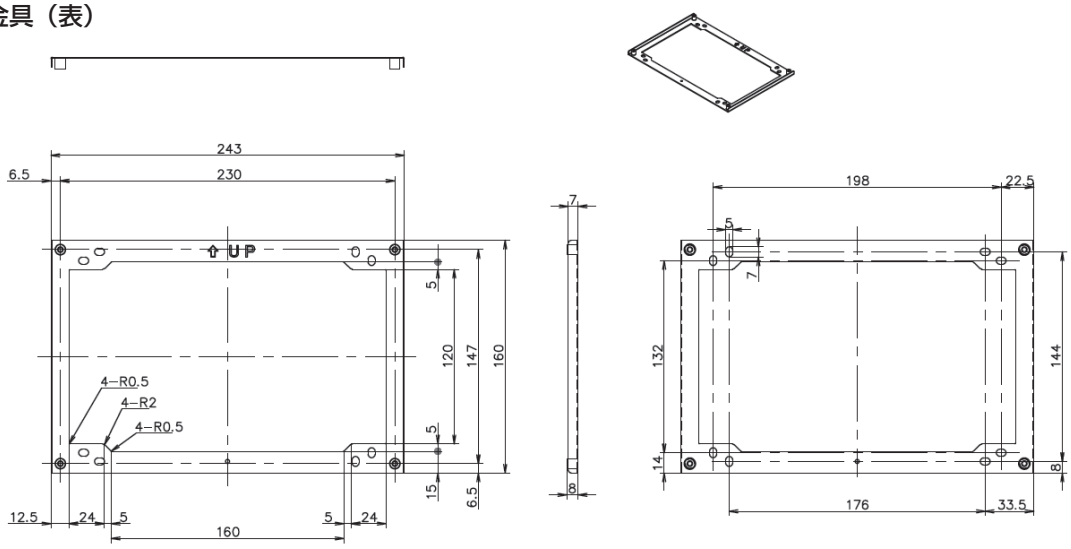
(a) 本体



上ケース
樹脂名 ABS
樹脂色 パールホワイト
塗装色 クリアパール

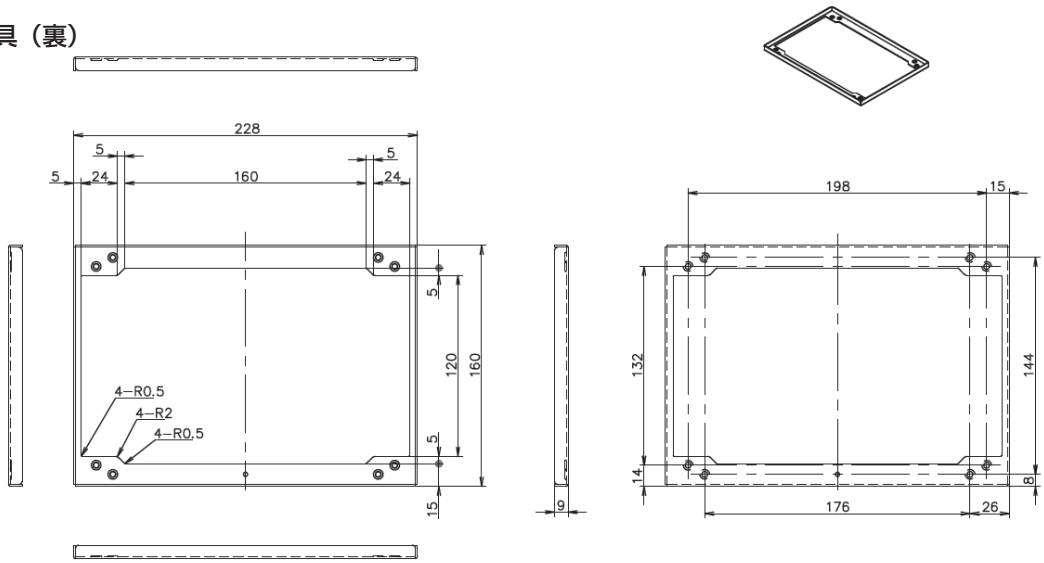
サービススペース 前面 500 mm 以上
下面 100 mm 以上

(b) 取付金具 (表)



材質 : SECC
板厚 : 1.0mm

(c) 取付金具 (裏)



材質 : SECC
板厚 : 1.2mm

1.8 据付関連事項

●工事を行う前に必ず読んでこれに従ってください。
●室内ユニット、室外ユニットの据付説明書も合わせて参照してください。
●本製品は精密機械ですので、落としたり、踏まれたりすると破損する場合があります。
お取り扱いには充分ご注意ください。

安 全 上 の ご 注 意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

🚫	絶対にしないでください。	❗⏚	必ず指示どおりに行ってください。

●据付工事後、試運転を行い異常が無いことを確認してください。
●取扱説明書にそってお客様に使用方法を説明してください。
●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警　告

●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。

●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。

●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
施工に不備があると感電、火災の原因になります。

●据付工事・修理・点検の際は、必ず電源をしゃ断して行う。
感電、ケガ、故障や動作不良の原因になります。

●改造は絶対にしない。
感電，火災，故障の原因になります。

●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。
感電、火災、故障の原因になります。

●洗濯室など水のかかる所では使用しない。
感電、火災、故障の原因になります。

●濡れた手で操作しない。
感電の原因になります。

●集中コントローラを水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注　意

●アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。

●設置場所によっては漏電しゃ断器を取付ける。
漏電しゃ断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

●集中コントローラを下記場所に設置しない。
（1）集中コントローラの変形・誤動作・故障の原因になる場合があります。
- 直射日光のあたる場所。
- 周囲温度が0℃以下、40℃以上になる場所。
- 取付面に凹凸のある場所。
- 取付部が十分な強度を有しない場所。
- 床など埃のたまりやすい場所。
- 振動の大きい場所。

（2）制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
- 電磁波を発生する機械がある場所。

1 適用機種　スーパーリンク対応全機種

2 付属品　（次の付属品を確かめてください。）

本ユニットには次の部品が入っています。据付前に確認してください。

本体		1セット
十字穴付きなべ小ねじ	(M4)	盤取付用4本(10㎜)
		壁取付用4本(40㎜)
十字穴付きなべ小ねじ	(M3)	本体取付用4本(8㎜)

取扱説明書(CD-ROM)	1枚
据付説明書(本紙)	1枚
取付用金具(表)	1個
取付用金具(裏)	1個
丸形圧着端子	大2個、小6個

・SC-SL4-Bに付属

CD-ROM(課金データ集計ソフトウェア)	1枚

USBメモリ	1個

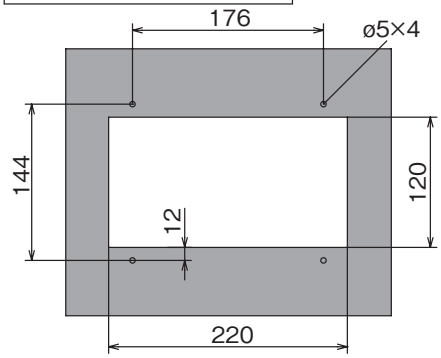
3 据付工事

感電の恐れがあります。必ず電源を切って作業してください。
電気配線に無理な力が加わらない様に、配置又は保護してください。

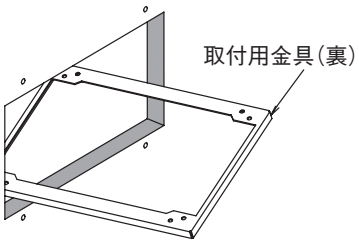
据付場所

本体の取付には **盤取付** または **壁埋め込み** の2種類があります。
いずれの取付でも電磁波の影響を受けたり、水、ホコリなどのかからない屋内に設置してください。
本製品の使用温度範囲は0℃以上40℃以下です。周囲温度が使用温度範囲内となる場所に設置してください。もし、使用温度範囲を超える場合には、必ず冷却ファンを取付ける等の対策を行ってください。使用温度範囲を超えて使用されますと動作不良の要因となりますのでご注意ください。

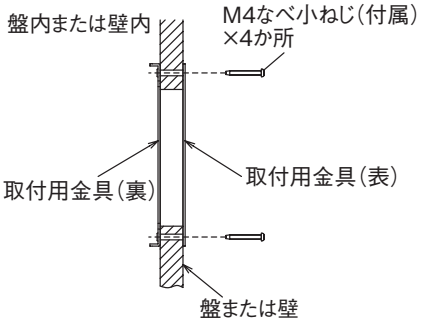
据付に必要なスペース



上図のような穴を空けてください。
寸法が違うと、正しく据付けできませんのでご注意ください。



取付用金具(裏)を穴から裏側に入れ、固定します。



取付用金具(表)と取付用金具(裏)を上図のように取付け、固定します。
●取付用金具には上下があります。
「⬆UP」を上にしてください。

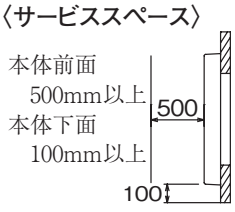
(1) 盤取付の場合

高さ300㎜×幅400㎜×奥行き120㎜以上の盤をご使用ください。
　推奨品例：日東工業㈱製　RA12-43、CH12-43
感電防止の為、必ず鍵のかかる制御盤に取付けてください。
付属の取付用金具をご使用ください。
保温材や断熱材を使用されると熱がこもり、本体の動作に影響することがありますので使用しないでください。

ご注意

同一制御盤中に周囲温度を上昇させる要因となる機器を設置しないでください。また、複数のコントローラを同一の制御盤に取付けないでください。熱がこもり動作不良の要因となります。やむを得ず同一制御盤に取付ける場合は、冷却ファンを取付ける等、制御盤内の温度を40℃以下に保つ対策を行ってください。

〈サービススペース〉



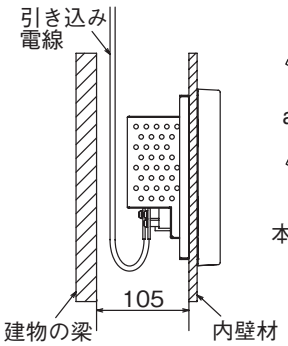
(2) 壁埋め込みの場合

付属の取付用金具をご使用ください。SC-SL4-A、-B用専用BOXのSLA3R-BXもご使用頂けます。開口スペース、取付ねじ穴位置が異なりますので、専用BOXの説明書を参照ください。(15ページ参照)
壁内のスペースは十分確保されていることをご確認ください。壁内が仕切られている場合のスペースの目安としては0.08㎡以上(下表参照)、または上下左右の仕切りが無ければ奥行き105㎜以上を確保してください。
十分なスペースが確保できない場合、壁内の温度が40℃を超える場合、または壁材の厚さが20㎜以上ある場合は盤取付としてください。

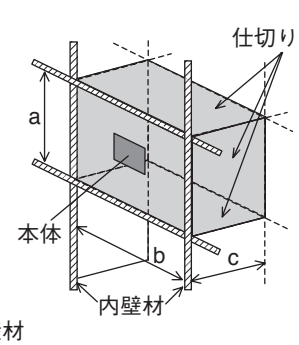
	a(高さ)(㎜)	b(幅)(㎜)	c(奥行き)(㎜)	スペース(㎡)
例1	900	800	110	0.08
例2	1800	400	110	0.08
例3	1000	400	200	0.08
最小寸法	600以上	400以上	110以上	

複数のコントローラを設置する場合は横に並べて取付けてください。

〈壁内に仕切りがない場合〉

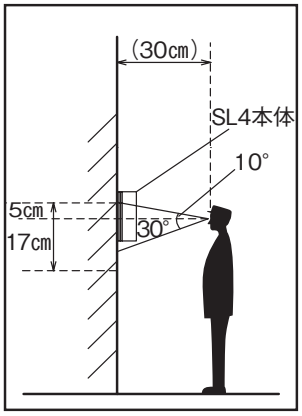


〈壁内に仕切りがある場合〉

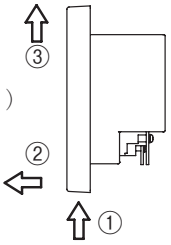


据付位置

本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるように据付けてください。
推奨据付位置は画面の中心が目の高さから+10°,-30°以内の位置です。
(目やすは、目の高さ+5cm,-17cmの位置です。)



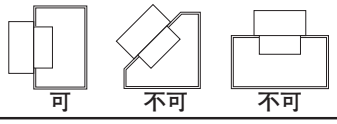
取付方法



(1) **上ケースを開けます。**
① +ドライバーでねじを2箇所外してください。(なくさないようにしてください。)
②, ③ 少し手前に引いて上側に押せばつめが外れます。

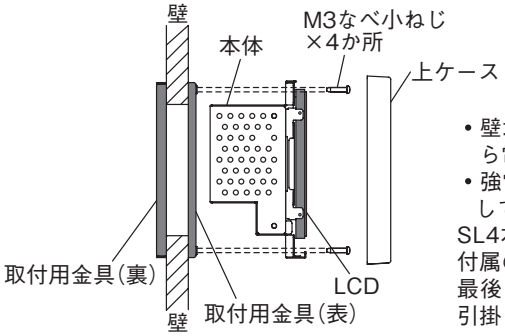
ご注意

上向き及び斜面には取付けないでください。



- ●予め信号線及び電源線を埋め込んでおいてください。
- ●端子台に配線を接続してください。
- ●電源電圧を確認し100Vまたは200Vを正しく接続してください。

(2) **据付概要**
SL4本体に電源線および信号線を接続します。



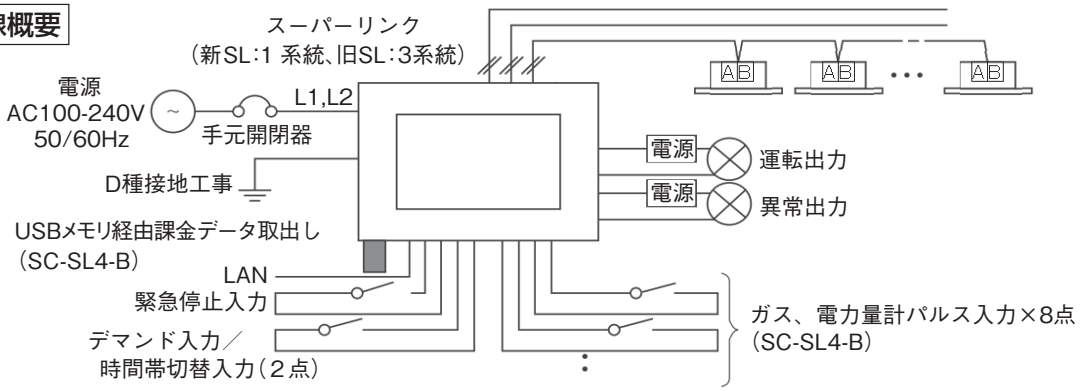
- 壁埋め込みの場合は、予め取付用金具の開口部から電源線および信号線を引き出しておいてください。
- 強電線と弱電線は誤動作防止の為、分離して配線してください。

SL4本体を開口穴に挿入した後、取付用金具(表)に付属のねじ(M3なべ小ねじ)で固定します。
最後に、上ケースをSL4本体に取付けます。(上部で引掛け、下部をねじ2個で固定します。)

4 電気配線

本体への配線は安全の為全て絶縁スリーブ付きの丸形圧着端子を使用してください。
- ●D種接地工事は必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- ●電源(手元開閉器)は全ての作業が終わるまで入れないでください。
- ●電源は室内ユニット室外ユニットの電源投入後2分以上経過した後に入れてください。
- ●図中の本体以外は現地で手配してください。(配線、スイッチ、リレー、電源、ランプ等)
- ●容易に電源の入り切りが出来るよう、手元開閉器はSL4本体の近くに設置してください。
- ●電源部端子台への配線は、必ず付属の丸形圧着端子(大)を使用してください。
- ●スーパーリンク端子台への配線は、必ず付属の丸形圧着端子(小)を使用してください。
- ●配線時には端子台のカバーを取外して作業を行ってください。作業終了時に、端子台のカバーを元通りに取付けてください。
  誤って感電することを防止するためのカバーです。

配線概要

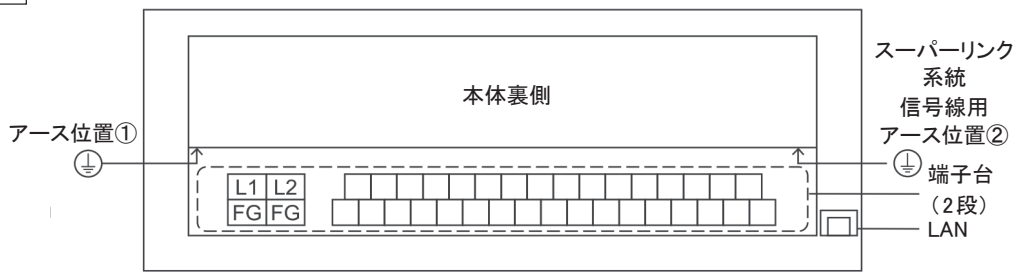


配線仕様

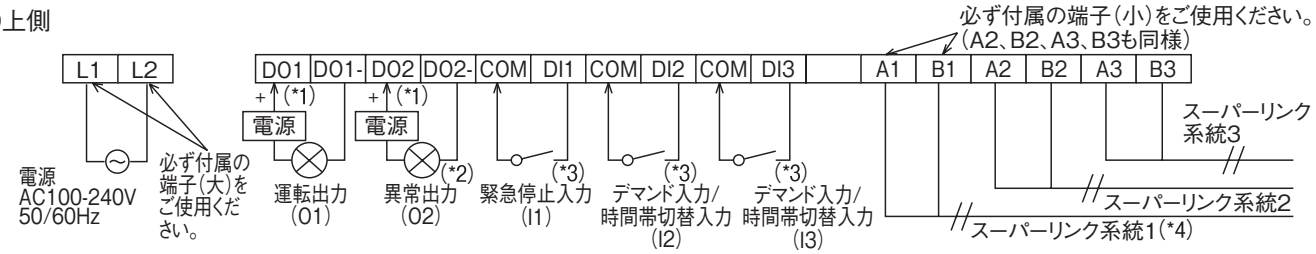
電源配線	1.25㎟
手元開閉器	10A
スーパーリンク信号線(注)	0.75㎟～1.25㎟のシールド線(推奨MVVS2芯) 1系統あたり最大1000m(最遠長1000m、総配線長1000m)
その他信号線	0.75㎟～1.25㎟ 最大延長200m 10mを超える場合はシールド線を使用してください。
アース線	0.75㎟～6㎟

(注)ネットワーク接続室内ユニット・室外ユニットが全て新スーパーリンク対応機の場合、総配線長1500m/系統の配線が可能です(最遠長は1000m)。
ただし、総配線長1000mを超える場合は配線径を0.75㎟としてください。詳しくは代理店または販売店に確認してください。
本集中コントローラを使用する場合は、スーパーリンク信号線をシールド線にしてください。シールド線は両端をアースしてください。
(本体側のアースは「システム配線」のアース位置②に配線してください。)

システム配線

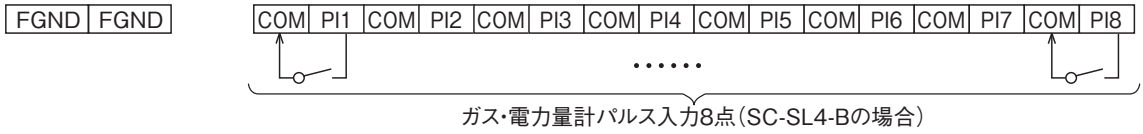


①上側



(*1) 電源：DC24V 最大定格電流：40mA
(*2) 異常出力の初期設定は正常時：閉 機能設定画面で正常時：開に変更可能 変更方法は取説を参照してください
(*3) 無電圧a接点入力 接点容量：DC12V、10mA
(*4) 新スーパーリンク通信設定の場合は系統1のみ有効

②下側



ご注意

電源線は他の端子台に接続しないでください。
間違って接続すると電気部品の破損、焼損を招き非常に危険です。
電源を入れる前にもう一度配線のチェックをしてください。

ご注意

接続する計量器は以下の仕様を満足するものをご使用ください。
- パルス発信器付計量器であるもの
- パルス幅が80ms以上あるもの

本装置による空調料金計算は、計量法によるものではありません。
計量器容量選定については、技術資料を参照してください。

ご注意

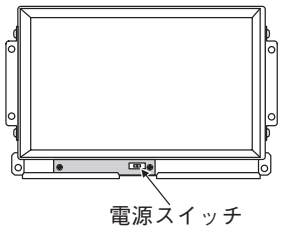
- デマンド入力は2点です。3レベル設定の場合は、代理店または販売店にお問い合わせください。
- SC-SL4-Bは課金時間帯切替を市販タイマーによる外部入力で行えます。これにより曜日毎に課金時間帯を変更することができます。
- 市販タイマーは現地手配となりますのでご注意願います。
  （なお、選定された市販タイマーの誤動作等による空調料金計算不良に関して、当社は保証致しかねますのでご了承ください。）
- 時間帯切替入力を1点使用する場合、デマンド入力は1レベル設定となります。

お知らせ

新旧スーパーリンク（SL）の設定は、本体の画面で行ってください。(取扱説明書参照)
接続ネットワークが旧スーパーリンクの場合は切換えが必要です。実際の接続ネットワークが新スーパーリンクか旧スーパーリンクかについては接続室内ユニットや室外ユニット等の形式によります。代理店または販売店に確認してください。新スーパーリンク通信設定とした場合は1系統最大128台の接続となります。必ずスーパーリンク系統1に配線接続してください。スーパーリンク系統2、3に接続しても認識しませんのでご注意ください。

電源スイッチ

本体下部に電源スイッチがあります。据付完了時、本スイッチがONになっていることを確認してください。本スイッチがONになっていないと起動しませんのでご注意ください。
（工場出荷時、電源スイッチはONになっています。）



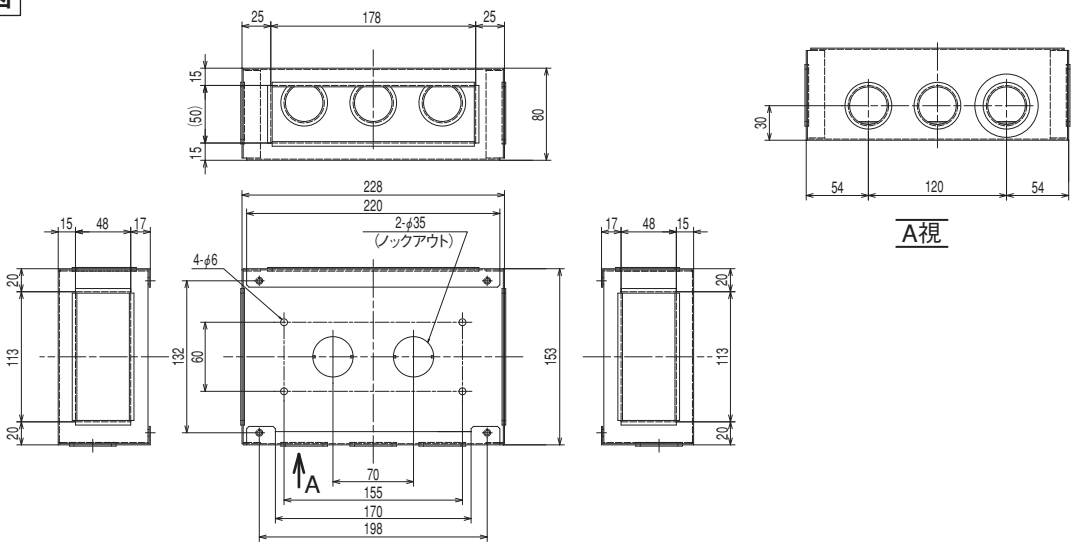
お願い

本体画面の保護シートはお客様に引き渡される際にはがしてください。
上ケースを取付ける前にはがしてください。

- 誤配線がないことをご確認の上で電源を入れても画面が表示されない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。また、本製品は全て専用部品で構成されており、現地での部品交換はできません。本説明書記載以外の分解は行わないでください。
- タッチパネルの打鍵寿命は約1,000万回です。LCDバックライトの寿命は約80,000時間になります。
- メンテナンスユーザーは、本機をメンテナンスする販売店または専門業者を想定しています。通常の管理者用IDでログインした場合は、メンテナンスメニューを操作することはできません。詳細は、本体取扱説明書をご参照ください。
- メンテナンスユーザーの『ID』と『パスワード』は管理者以外の方には開示しないようにしてください。
  工場出荷時：ID（MHI）、パスワード（123456）
  『ID』と『パスワード』は変更可能です。本体取扱説明書の「メンテナンスユーザー設定」をご参照ください。

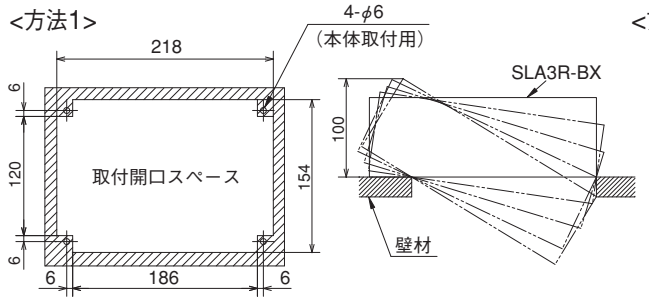
●壁埋め込み用ボックス(SLA3R-BX)（別売品）

外形図

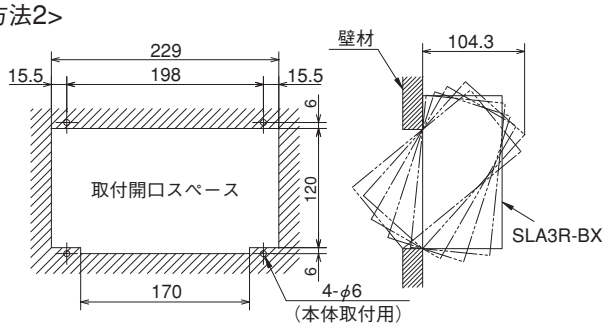


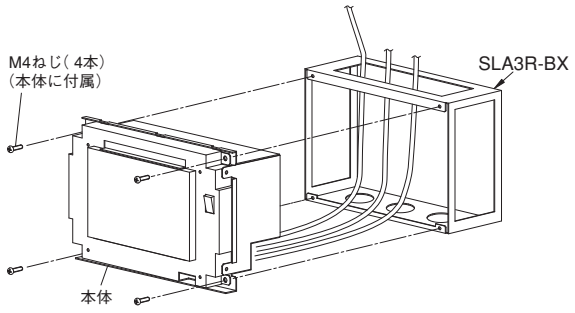
取付に必要なスペース

<方法1>



<方法2>



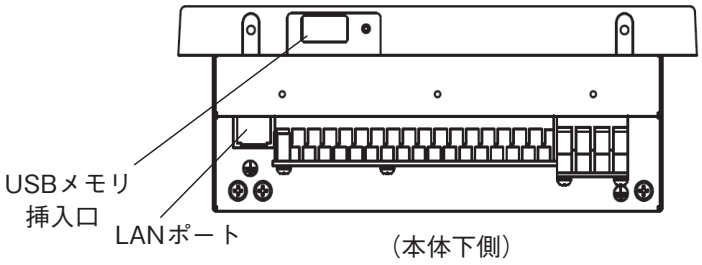


1.9 課金計算内容（SC-SL4-B のみ）

SL4の課金計算は,SL4本体で各室内ユニットの運転量と電力計･ガス流量計の積算を行い,その結果をデータファイルとして出力します。
このデータファイルをUSBメモリまたはLAN経由でパソコンに取込み,付属の計算ソフトにて按分計算します。
〈計算手順〉

① 各空調機の運転時間を積算する。(毎分)
② 各空調機の運転量(Ki)を求め,時間帯別(1～4)に積算する。(毎分)
Ki＝Ki(前回値)＋K_M
K_M:1分間の空調機運転量

運転量は次の4手法により計算します。
空調機定格膨張弁開度換算値がEである場合の運転量
・マルチ1(冷媒流量):室内ユニットに流れる冷媒流量を考慮した換算値を加算する。(ΣEj)
(Ej:毎分の室内ユニット膨張弁開度換算値)
・マルチ2(サーモON/OFF):室内ユニットに冷媒が流れている時間を換算し加算する。(サーモON時間×E)
・店舗(コンプON/OFF):室外ユニットが運転している時間を換算した値を加算する。(室外ユニット運転時間×E)
・ON/OFF(運転時間):リモコンがONしている状態を換算した値を加算する。(室内ユニット運転時間×E)
(E:室内ユニット能力換算値)
＊同一電力計(ガスメータ)系統は同じ計算手法に設定してください。
＊マルチ1,マルチ2に設定すると,送風モード室内ユニットは按分対象外になります。
送風モード室内ユニットを按分対象とする場合はON/OFFに設定してください。
＊休日等で1日中空調機を使用しない場合の待機電力分は,運転室内ユニットが存在せず按分できないため,メータ値と一致しません。
差分については表計算ソフトを使用し,課金データを再編集してください。

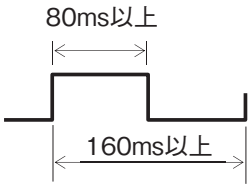


(本体下側)

・課金データを編集するソフトを付属しています。
操作方法につきましては付属ソフトに従ってください。
・課金データファイルはLAN経由でパソコンにダウンロードすることができます。

◎電力量計/ガス流量メータ(パルス単位)の選定について(SC-SL4-B)

1) パルス入力の受け側の制限:パルス幅が80ms以上,1日:1パルス以上(10分に1パルス以上が望ましい。)



2) パルス単位の選定

① 接続する空調機の所要電源容量の総量を求める。

② それに見合った積算電力量計を仮選定する。

③ 空調機の最大稼動状況:夏場の過負荷状況想定,例えば総消費電力×1.2とすると

例) 総消費電力状況=100kW,力率=90%のとき最大稼動状況=100×1.2=120kW,三相200Vでは,I=120×1000/(1.732×200×0.9)=385A→電力量計は400Aのものが必要となる。

三菱電機製のもので400Aの発信装置を選ぶと

・K11形では,パルス単位100kWh/Pまたは10kWh/Pのいずれかの選択

・K12形では,パルス単位100kWh/Pまたは10kWh/Pまたは1kWh/Pのいずれかの選択

※さらに小さいパルス単位については電力量計メーカにご相談ください。

④ 消費電力量が120kWhの時のチェック(例)

●一番パルス入力が多いとき0.1kWh/Pを選定すると,1200P/h=20P/min即ち1分間に20パルスなのでOK。

●使用率が落ち,例えば1/10に減った(12kWh)とすると,10kWh/Pを選定すると,1.2P/h=0.02P/min即ち10分間ではパルス無し,1日に28.8パルスとなる。

1kWh/Pを選定すると,12P/h=0.2P/min即ち10分間ではパ2ルス。

1日1パルスあれば計算は可能なので10kWh/Pも使用可能だが使用率により計算誤差が発生しやすくなるので1kWh/Pが望ましい。

3) 電力パルス入力の最大カウント数(最大値を超えるとパルス幅の制限を守れない。)

電力量パルス単位	0.01kWh/P	0.1kWh/P	1kWh/P	10kWh/P
最大計測可能電力量	5,400kWh/日	54,000kWh/日	540,000kWh/日	5,400,000kWh/日
	225kWh/h	2,250kWh/h	22,500kWh/h	225,000kWh/h

4) ガスパルス入力の最大カウント数(最大値を超えるとパルス幅の制限を守れない。)

ガス量パルス単位	0.01m^3/P	0.05m^3/P	0.1m^3/P	0.5m^3/P
最大計測可能流量	5,400m^3/日	27,000m^3/日	54,000m^3/日	270,000m^3/日
	225m^3/h	1,125m^3/h	2,250m^3/h	11,250m^3/h

0.05m^3/Pの時,2m^3/h使えば40パルス/h。0.5m^3/Pの時,10m^3/h使えば20パルス/h。

◎スーパーリンクアダプタ使用時の注意について

・店舗用室内ユニットを参入させる為にはスーパーリンクアダプタ(SC-ADNA)が必要です。

・「店舗(コンプON/OFF)」または「ON/OFF(運転時間)」で使用してください。

・ただし,冷媒系統が異なる複数の室内ユニットを1個のスーパーリンクアダプタに接続する場合は「ON/OFF」で使用してください。

「店舗」選択時はコンプON/OFF情報により計算するため,冷媒系統が異なり室外ユニットが複数接続されている場合は,取得データと実際の運転が異なる場合があるためです。

・また,マルチ室内ユニットをスーパーリンクアダプタ経由で管理する場合,課金設定は「ON/OFF」のみとしてください。それ以外の設定では課金計算が正常に行えません。

・家庭用空調機をSC-BIKN及びスーパーリンクアダプタを使用し接続する場合は,「ON/OFF」または「店舗」で使用してください。

ただし,「店舗」で使用する場合は,スーパーリンクアダプタに接続する室内ユニットは1台としてください。

◎その他のアダプタ使用時の注意について

SC-BIFN(HA端子)またはSC-GIFNで接続した空調機は,「ON/OFF(運転時間)」で使用してください。

1.10 SC-SL4-Bユーティリティ

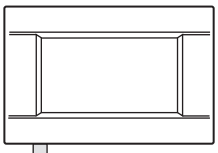
(1) 概要 …… 19
(a) データ・処理の流れ …… 19
(b) 機能概要 …… 20
(2) プログラムのインストール …… 21
(a) はじめに (ご注意願う事) …… 21
(b) 動作環境 …… 22
(c) プログラムのインストール …… 22
(3) 起動と終了 …… 23
(a) SL4-B用ユーティリティーの起動 …… 23
(b) SL4-B用ユーティリティーの終了 …… 23
(4) 画面遷移 …… 24
(5) 空調料金計算手順 …… 25
(a) SL4-B用ユーティリティーを起動する …… 25
(b) 手順1. 課金データの読込み …… 26
(c) 手順2. 系統定義設定 …… 28
(d) 手順3. パルス定義設定 …… 34
(e) 手順4. 基本料金定義設定 …… 36
(f) 手順5. 単価定義設定 …… 38
(g) 手順6. 月報データ出力 …… 40
付録1 月報データ出力イメージ …… 44
付録2 Microsoft®社製Excel®でのCSVファイル分割表示方法 …… 46

(1) 概要

SC-SL4-B(Ver.2.00以降)によって計算・記録された課金データファイルをもとに, 空調料金計算を行います。

(a) データ・処理の流れ

本装置による空調料金計算は計量法によるものではありません。



SC-SL4-B本体
(Ver. 2. 00以降)

USBメモリ

① 定義ファイル: SC-SL4-Bの"課金データ転送"操作によりUSBメモリに転送されます。"定義データバックアップ"操作でも転送できます。本ファイルには, グループ名称およびグループ構成情報が記録されています。

② 月別課金データ記録ファイル: SC-SL4-Bの"課金データ転送"操作により転送されます。
本ファイルには, 日毎空調機別時間帯1～4運転時間, 時間帯1～4運転量, 時間帯1～4パルス数積算値が記録されています。

(バイナリ形式)

本ソフトウェア範囲

(課金データ入力)

変換処理

(保存)

a. 定義ファイル(CSV形式)
(グループ名称, グループ構成)
b. 月別課金データ記録ファイル(CSV形式)
b-1. 日毎時間帯1～4パルス数積算値
b-2. 日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量

(テキスト形式)

(日報・月報作成)

パルス系統毎の空調機別時間帯1～4消費量計算
SL通信系統毎の日毎空調機別時間帯1～4運転時間, 消費量計算
グループ別時間帯1～4運転時間, 消費量計算

③系統定義(電力/ガス)
空調機No.毎計量器パルス入力No.構成情報
④パルス定義(電力/ガス)
計量器パルス定数(kWh/pulse, m^3/pulse)

(保存)

c. パルス系統毎空調機別時間帯1～4消費量
d. 日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 消費量
e. グループ別時間帯1～4運転時間(分), 消費量
(グループ#1～#144(#128)を一括保存。)

(テキスト形式)

グループ別締日期間毎時間帯1～4
消費電力量・消費ガス量計算
締日期間毎空調料金計算

⑤ 計算期間設定(20日締め, 月末締め等)
⑥ 基本料金設定(電気/ガス)
⑦ 時間帯1～4電気・ガス単価設定

(保存)

f. グループ別締日期間運転時間(時間), 消費量, 空調料金

(テキスト形式)

客先処理:帳票(請求書)作成出力
(テナント別月報作成)

⑧ テナント毎グループ定義
(テナント毎構成グループ情報, テナント名称)
⑨ 出力帳票フォーム

(b) 機能概要

本ユーティリティは, SC-SL4-B Ver.2.00以降（以降SL4-Bと称します。）によって計算・記録された課金データファイルおよびグループ定義ファイルをもとに, 空調料金計算を行ないます。
本ユーティリティをご使用の前に, 必ずSL4-Bの課金データファイルをSL4-B本体付属のUSBメモリ又はWEBブラウザのダウンロード操作[*1]によりパソコンに保存してください。（ご使用方法は本体に付属の取扱説明書をご覧ください。）
SL4-B本体に保存される課金データファイルの取出しは, 12か月分です。1年以内に必ず課金データファイルを保存してください。

本装置による空調料金計算は計量法によるものではありません。

本ユーティリティは, 以下の機能を持っています。

(1) 定義データ表示, 変更機能

計量器系統, 計量器パルス定数, 電気／ガス基本料金, 電気／ガス単価の各設定データを表示するとともに, 設定データの変更ができます。

(2) 定義ファイル保存機能

計量器系統, 計量器パルス定数, 電気／ガス基本料金, 電気／ガス単価の各設定データを保存できます。

(3) SL4-B 記録ファイル読込み機能

SL4-Bで記録されたグループ名称, グループ構成, 月別課金データ記録ファイルを読込み, バイナリ形式からCSV形式[*2]に変換します。

(4) 月報データ作成機能

ガス, 電気別に各グループの運転時間, 按分消費量, 空調料金を計算し, CSV形式でファイル保存します。期間指定, 締日指定で計算できます。（付録1〈44ページ〉参照）

パルス系統, パルス定数は空調設備の設置条件によって決まります。誤った設定を行うと, 正しく空調料金計算ができません。詳しくは弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。
お客様の空調システムが新仕様／旧仕様いずれに該当するかは, 弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。

（注＊1）
最新の定義ファイルをダウンロードしてください。

（注＊2）
SL4-Bはデータファイルの大きさを最小にするために, バイナリ形式で記録しており, 他のソフトウェアでは正しく読込むことができません。CSV形式に変換することで, 汎用のソフトウェアで読込みができるようになります。

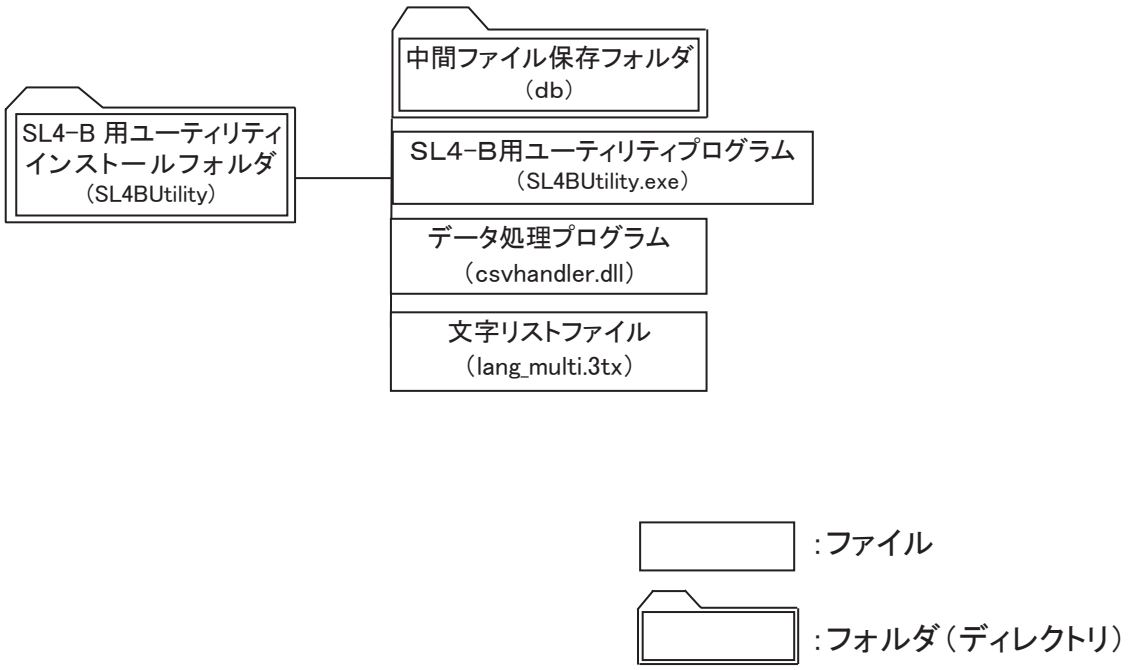
(2) プログラムのインストール

(a) はじめに(ご注意願う事)

本書は, SL4-B用ユーティリティーのインストール方法とインストール上の注意を示したものです。SL4-B用ユーティリティーが正しく動作するには, SL4-B用ユーティリティー実行に必要な動作環境を満たし, Windows®設定およびSL4-B用ユーティリティーのインストールが正しく行われている必要があります。

(ご注意ください)

正常にインストールが完了すると下図に示すフォルダ(ディレクトリ)及びファイルが作成されます。これらのファイルとフォルダ(ディレクトリ)を移動または削除するとSL4-B用ユーティリティーは正常に動作しませんので, ご注意ください。



(b) 動作環境

SL4-B用ユーティリティーの動作には, 以下に示す動作環境を満足する必要があります。
コンピュータ本体(PC/AT互換機のみ)

- ・CPU: Pentiumプロセッサ(300MHz以上推奨)もしくは同等品
- ・メモリ: 128MB以上
- ・HD: Windows® をインストールした状態で空き容量が5MB以上
- ・インターフェイス: USB×1ポート(SL4-Bからのファイル入力に使用します。WEBブラウザでファイルをダウンロードする場合は不要です。)

日本語版オペレーティングシステム

- ・Windows® 7 Service Pack 1以降 または Windows® 8.1, Windows® 10
- ・Windows® 7は, "Microsoft® .NET Framework 1.1以降"が必要となります。
- ・Windows® 8.1 とWindows® 10は, "Microsoft® .NET Framework 3.5"が必要となります。

SL4-B用ユーティリティーの画面サイズは, 以下の設定で最適化されます。

- デスクトップ領域: 800×600ピクセル
- フォントサイズ: 小さいフォント

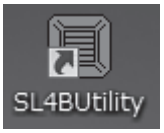
(c) プログラムのインストール

1) 他のソフトウェアをすべて終了して, SL4-B用ユーティリティー・インストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。
2) デスクトップのコンピューターアイコンをダブルクリックして開き, CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
3) setup.exeアイコンをダブルクリックします。
インストール開始画面が表示されます。後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

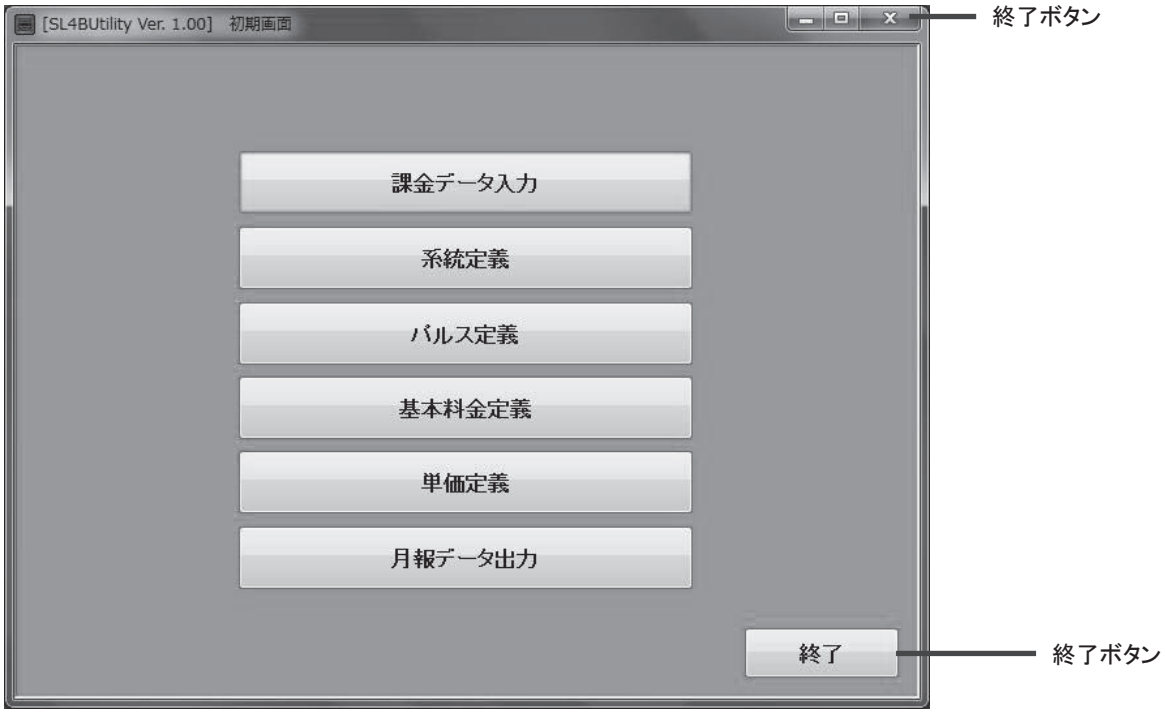
(3) 起動と終了

(a) SL4-B用ユーティリティーの起動

デスクトップ上のプログラムアイコンをダブルクリックすると初期画面が表示されます。



プログラムアイコン

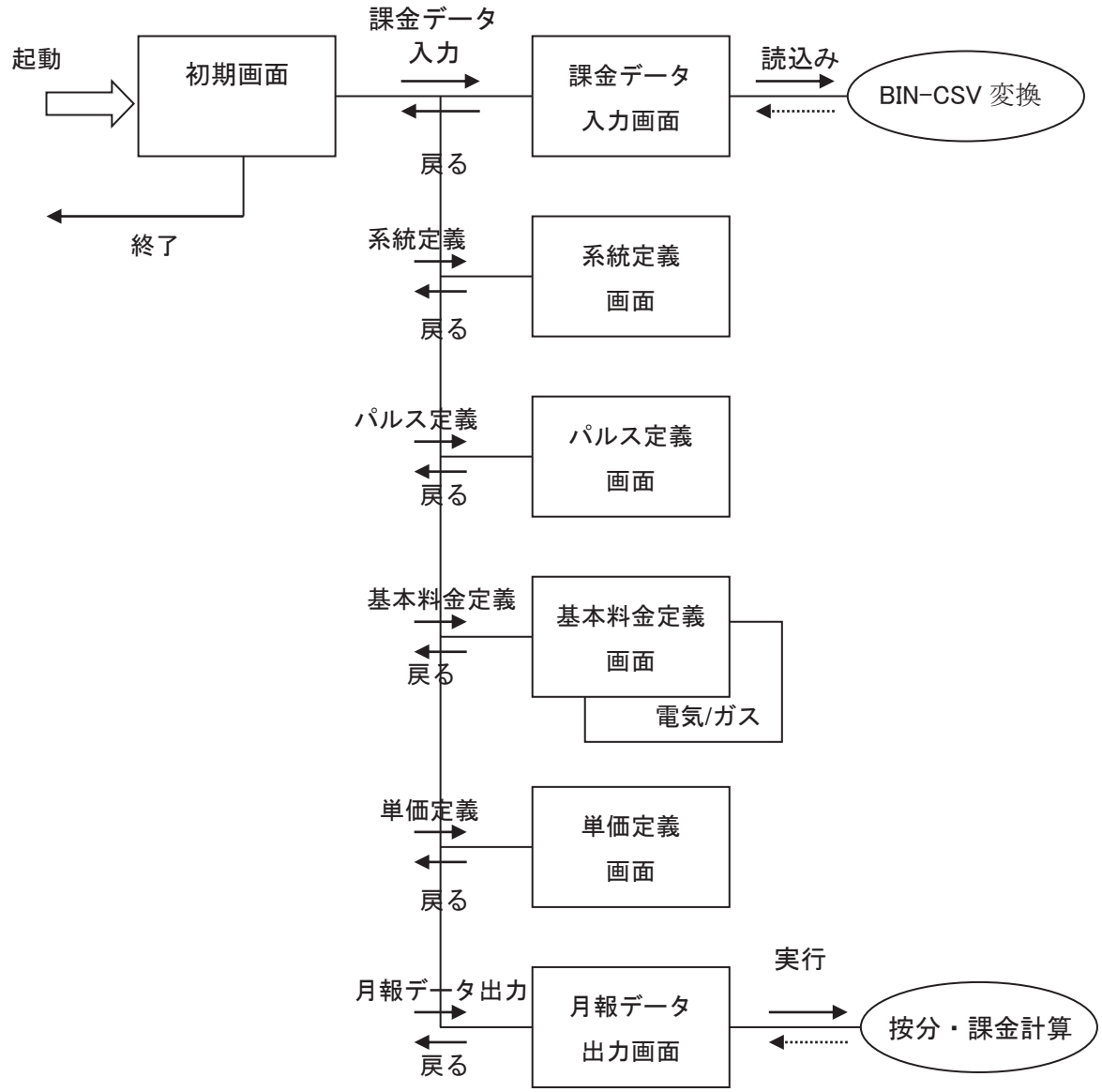


(b) SL4-B用ユーティリティーの終了

初期画面にて[終了]ボタンをクリックするか, タイトルバーの[×]ボタンをクリックするとプログラムが終了します。

(4) 画面遷移

SL4-B用ユーティリティーの画面遷移を以下に示します。



(5) 空調料金計算手順

(a) SL4-B用ユーティリティーを起動する

デスクトップ上のプログラムアイコンをダブルクリックすると初期画面が表示されます。

プログラムアイコン

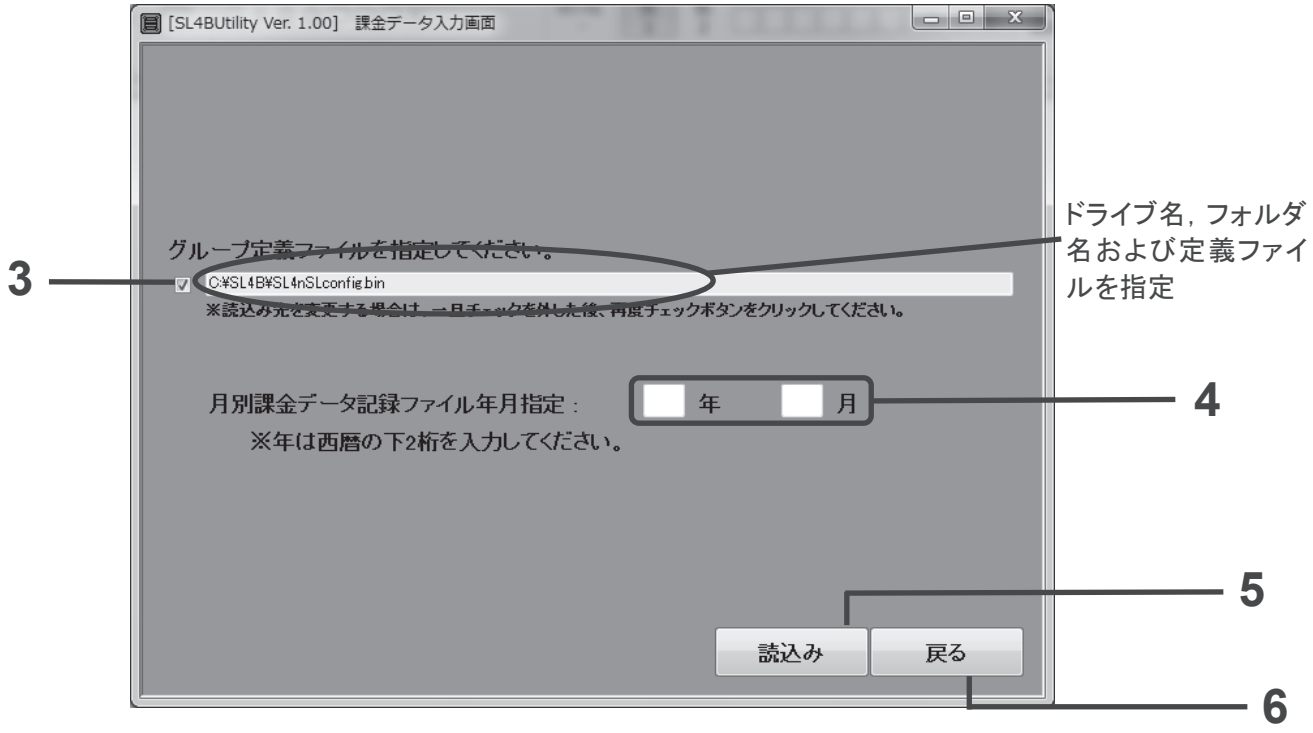
以下の手順に従って, 空調料金計算を行います。

1)［課金データ入力］ボタンをクリックして，課金データファイルを読込みます。
2)［系統定義］ボタンをクリックして，電力・ガス量計系統設定を行います。
3)［パルス定義］ボタンをクリックして，電力・ガス量計のパルス定数設定を行います。
4)［基本料金定義］ボタンをクリックして，空調グループ毎の電力・ガスの基本料金を設定します。
5)［単価定義］ボタンをクリックして，電力・ガスの単価を設定します。
6)［月報データ出力］ボタンをクリックして，空調料金計算を行います。

設定に変更がない限り, SL4-B用ユーティリィティは系統定義, パルス定義, 基本料金定義および単価定義の前回の設定を記憶しているので, 手順2～5を省略しても構いません。しかし, 各設定内容を毎回チェックすることをお薦めします。
2台以上のSL4-Bを管理する場合, 手順2～5は省略しないでください。各SL4-Bの設定データを読込む必要があります。

(b) 手順1. 課金データの読込み

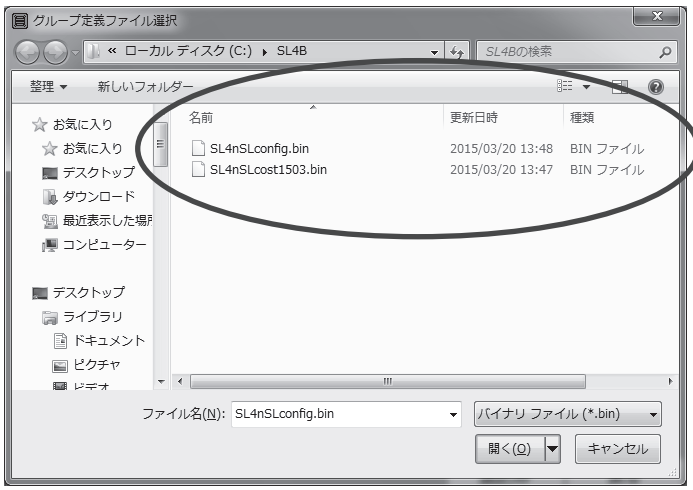
SL4-Bから出力されるグループ定義ファイルを指定し, 読込みを行います。月別課金データ記録ファイルは, 計算年月をファイル名としているため, 年月指定で入力します。グループ定義ファイルは, 前回設定したファイル名を保持し, 起動時に読込みます。読込みボタンが押された時, 両ファイルを読込み, CSV形式の中間ファイルに出力します。



1) あらかじめ, SL4-Bの課金データファイルをUSBメモリに転送　または　ダウンロード操作によりパソコンに保存してください。
2) USBメモリに転送した場合は, パソコンにUSBメモリを挿入してください。
3) チェックボックスをクリックしてください。パソコン上のUSBメモリのドライブ名(USBメモリに転送した場合)およびフォルダ名(課金データを転送したフォルダ名)を選択し, 定義ファイルを指定してください。
   ・既にチェックマークが入っている場合は, チェックボックスをクリックしてチェックを外し, 再度チェックボックスをクリックするとファイル選択ダイアログボックスが表示されます。
   ・USBメモリに転送した場合は, SL4-Bの“課金データ転送”操作により, 指定したUSBメモリ内のフォルダにグループ構成情報が記録された定義ファイルと月別課金データ記録ファイルが保存されます。
   ・定義ファイル名は“SL4nSLconfig.bin”もしくは“SL4pSLconfig.bin”です。いずれかを選択してください。
   このファイル名は接続システムにより区別しています。
   読込むファイルにより画面が異なりますので, 以降の画面説明上“SL4nSLconfig.bin”を選択した場合の画面表示を「新仕様画面」, “SL4pSLconfig.bin”を選択した場合の画面表示を「旧仕様画面」と称します。(お客様の接続システムが新仕様／旧仕様いずれに該当するかは, 弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。)
4) 計算する年月を指定してください。
5) [読込み]ボタンをクリックしてください。ファイル読込みが開始します。
6) ファイルの読込みが成功したことを確認してください。
   その後, [戻る]ボタンクリックします。

(i) **グループ定義ファイル選択ダイアログボックス**

グループ定義ファイル(新仕様:SL4pSLconfig.bin, 旧仕様:SL4pSLconfig.bin)を選択してください。



お使いのパソコン上の, USBメモリのドライブ名を指定し(USBメモリに転送した場合), 課金データ保存フォルダを選択。そのフォルダにある定義ファイルを選択([開く]ボタン)します。

(ii) **課金データの読込み**

選択したグループ定義ファイルと年月で指定される月別課金データ記録ファイルを同時に読込み, バイナリ形式からCSV形式に変換します。作成されるCSVファイルは, 以下の通りです。

〈新仕様の場合〉

- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その1(ファイル名:SL4NSL1costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その2(ファイル名:SL4NSL2costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その3(ファイル名:SL4NSL3costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その4(ファイル名:SL4NSL4costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その5(ファイル名:SL4NSL5costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その6(ファイル名:SL4NSL6costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その7(ファイル名:SL4NSL7costYYMM.csv)
- 系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その8(ファイル名:SL4NSL8costYYMM.csv)
- 日毎時間帯1～4パルス数積算値(ファイル名:SL4NPLScostYYMM.csv)
- グループ定義(ファイル名:NGRP.csv)

〈旧仕様の場合〉

- SL#1系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その1(ファイル名:SL4PSL1P1costYYMM.csv)
- SL#1系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その2(ファイル名:SL4PSL1P2costYYMM.csv)
- SL#2系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その1(ファイル名:SL4PSL2P1costYYMM.csv)
- SL#2系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その2(ファイル名:SL4PSL2P2costYYMM.csv)
- SL#3系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その1(ファイル名:SL4PSL3P1costYYMM.csv)
- SL#3系統日毎空調機別時間帯1～4運転時間(分), 運転量その2(ファイル名:SL4PSL3P2costYYMM.csv)
- 日毎時間帯1～4パルス数積算値(ファイル名:SL4PPLScostYYMM.csv)
- グループ定義(ファイル名:GRP.csv)

保存されるフォルダはプログラムインストールフォルダの中の“db”フォルダの中です。

YYMMは年月を表します。

上記ファイルはMicrosoft®社製Excel®等の表計算ソフトで参照できますが, 上書き保存しないでください。SL4-B用ユーティリティーで正しく計算できなくなります。

上記ファイルは年に1回程度の目安で削除してください。ハードディスク容量が不足する可能性があります。

(c) 手順2.　系統定義設定

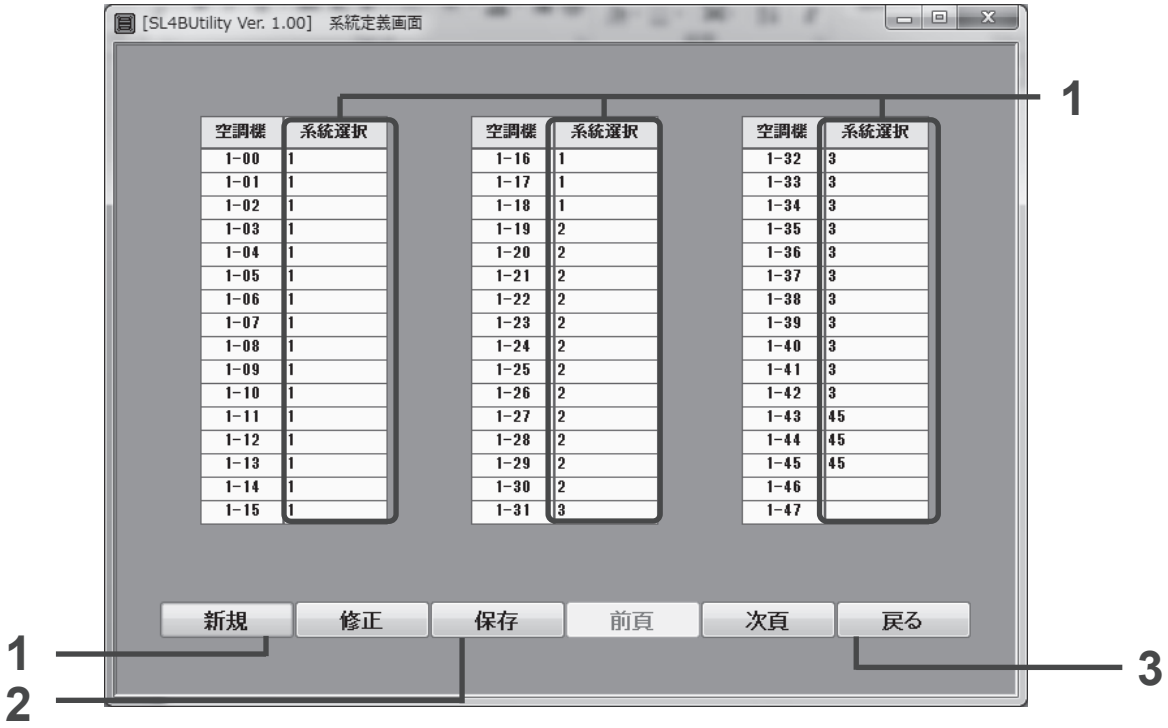
SL4-B用ユーティリィティーは前回読込んだ系統定義を記憶し, プログラム起動時に読込みます。設定内容に変更がなければ, この手順を省略しても構いません。

各空調機が最大8個の電力量計系統およびガスメータ系統のうち, どの系統に接続されているかを設定します。1台の空調機に対して複数の系統ナンバーが選択可能です。異なるエネルギーを消費するGHP(ガス・ヒートポンプ)システムのような空調機に適用可能です。空調室内ユニットと空調室外ユニットを別の電力量計で計量する場合にも適用できます。この場合, 空調室内ユニットに空調室外ユニットのメーター番号を割当ててください。系統ナンバーは1～8が選択可能です。系統選択が空欄の空調機は計算対象外となります。

・新仕様画面

空調機番号“000”は, 空調機番号を示します。

・旧仕様画面
空調機番号“1-00”は, 空調機通信系統番号と空調機番号を示します。



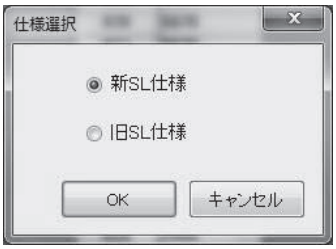
【ヒント】
入力位置(カーソル)の移動は, キーボードの[Tab]キーでも行えます。[Tab]キーを押すごとに入力位置が順番に移動しますので便利です。

注　意
空調料金計算を行う上で系統定義設定は重要です。
実際の設置状況に合わせて設定する必要があります。詳しくは弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。

(i) 初めて設定する場合

1) [新規]ボタンをクリックして, 系統ナンバーを入力してください。

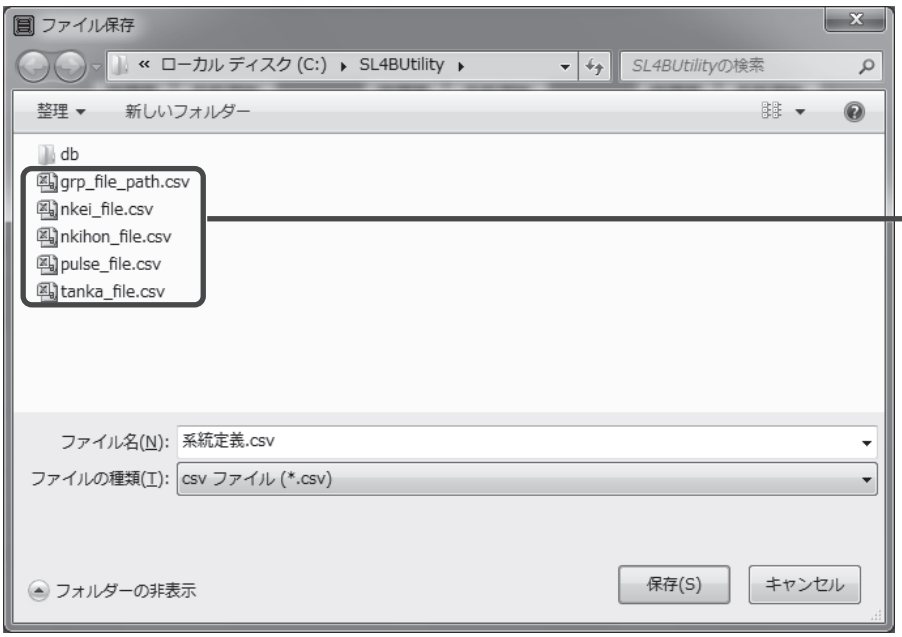
・[新規]ボタンクリック後, 仕様を決定してください。新仕様の場合は「新SL仕様」を, 旧仕様の場合は「旧SL仕様」を押してください。(お客様の空調システムが新仕様／旧仕様いずれに該当するかは, 弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。)



・全空調機の系統選択欄の数値が全てクリアされ空白表示になります。

2) [保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。

・ファイル保存ダイアログボックスが表示されますので, ファイル名を入力し, [保存]ボタンをクリックして保存してください。ファイルの保存先およびファイル名は任意に変更可能です。



これらのファイルは, SL4-B用ユーティリティーが使用するファイルです。同名のファイル名で上書き保存しないでください。

3) [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

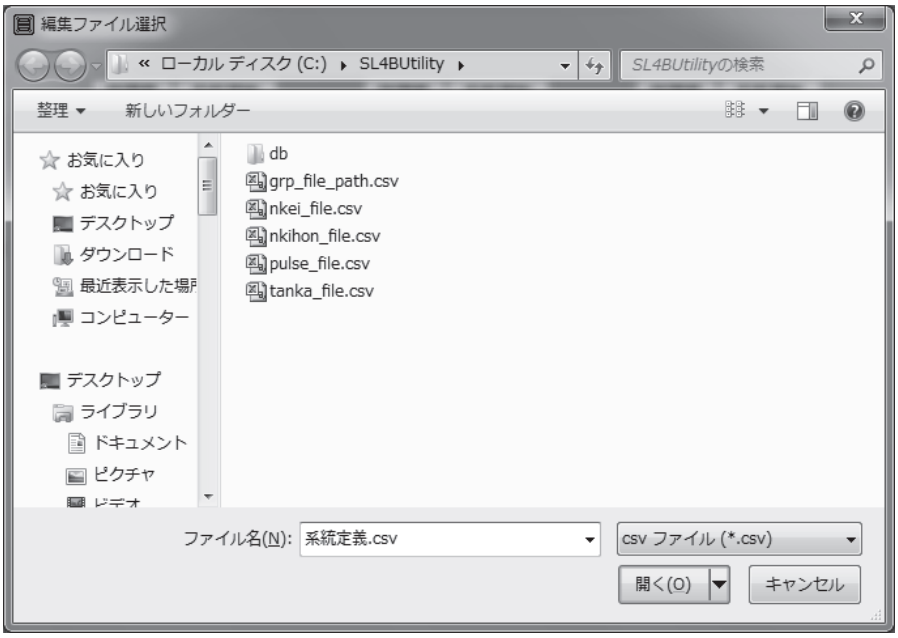
(ii) 2回目以降

この手順は省略しても構いません。しかし, 各設定内容を毎回チェックすることをお薦めします。設定内容確認後, [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ってください。

㈲ 設定内容を変更する場合

1）[修正]ボタンをクリックして, 系統定義ファイルを選択して, 設定内容を変更してください。

・編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。系統定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。



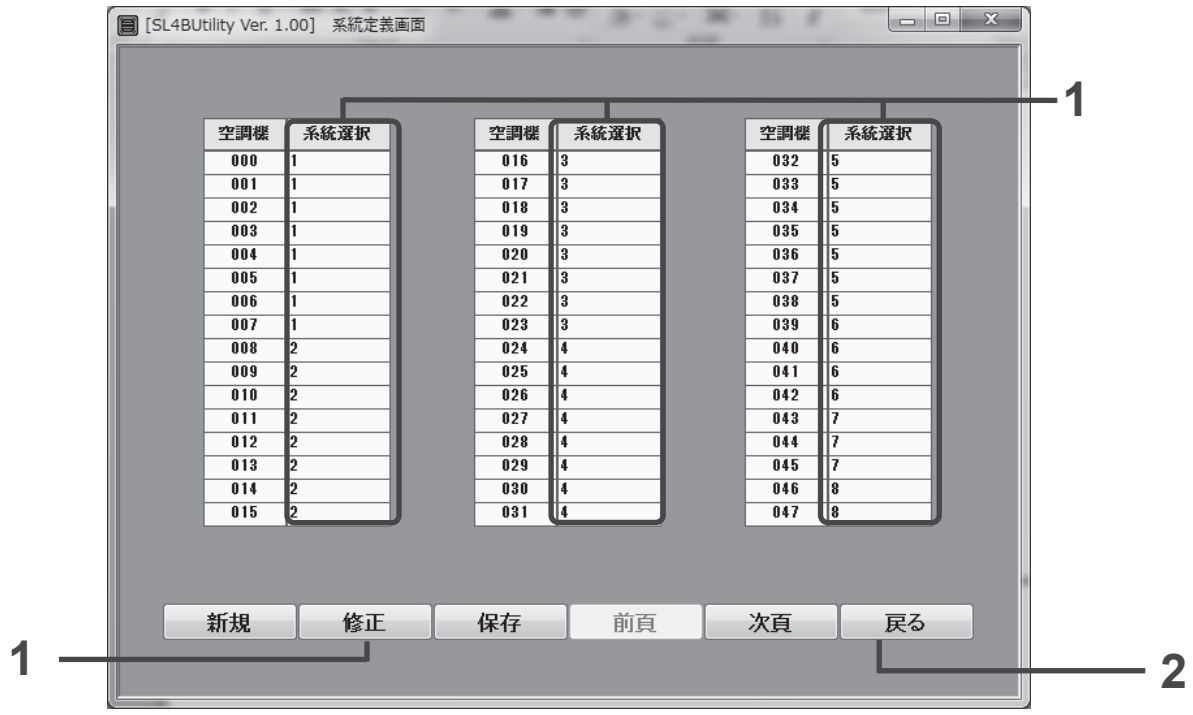
2）[保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。

3）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

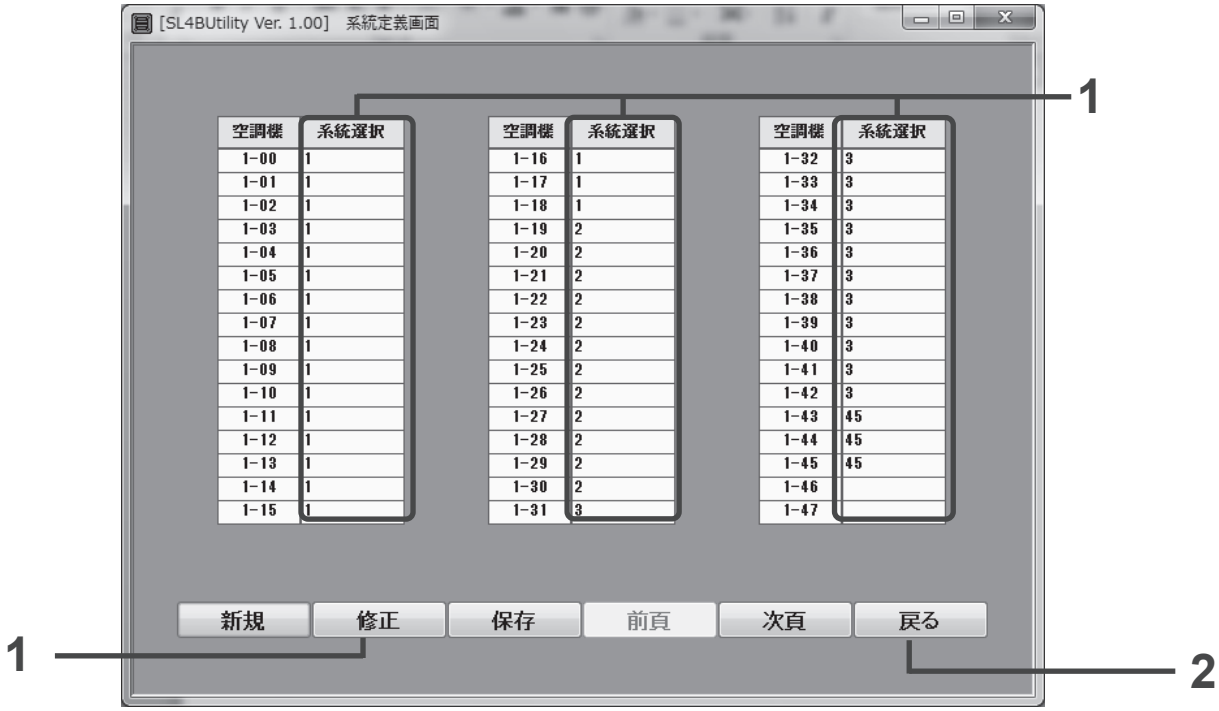
ⓘⓥ 2台以上SL4-Bを管理する場合

2台以上のSL4-Bを管理する場合は, 各SL4-Bに対応した定義ファイルを作成しておいてください。定義ファイル名は区別できる名前で保存してください。定義ファイルの作成方法は「初めて設定する場合」を参照ください。

・新仕様画面

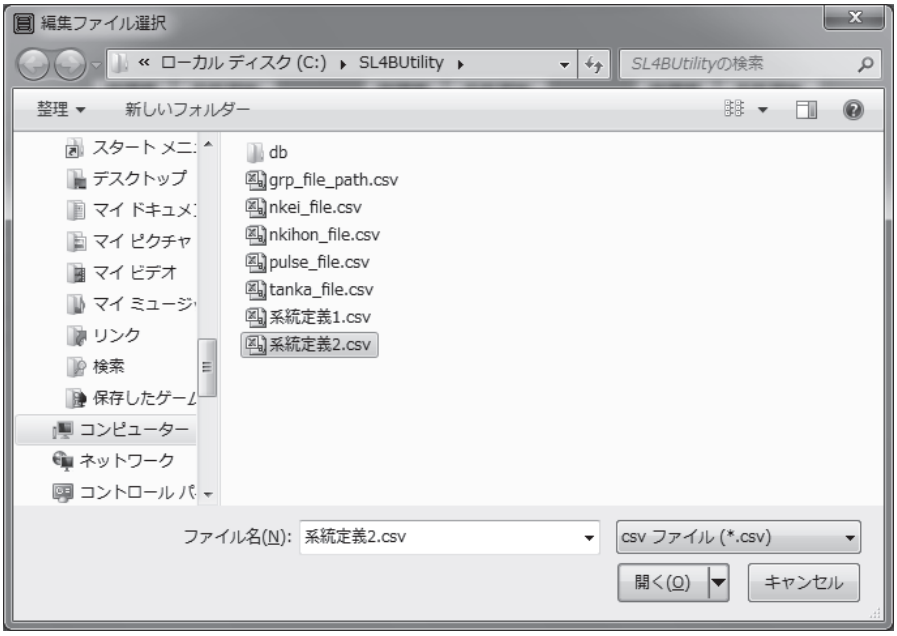


・旧仕様画面



1）[修正]ボタンをクリックして, 定義ファイルを選択して, 設定内容をチェックしてください。

・編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。計算を行うSL4-B用の定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。



2）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(d) 手順3. パルス定義設定

SL4-B用ユーティリィティは前回読込んだパルス定義を記憶し, プログラム起動時に読込みます。設定内容に変更がなければ, この手順を省略しても構いません。

8個の電力量計, ガスメータのパルス定数をキーボードから入力し, 電気／ガス種別をコンボボックスから選択してください。

パルス定数の入力は, 小数第2位までです。

《パルス定数の入力範囲》

範囲	下限	上限
電気	0.00	300.00kWh/パルス
ガス	0.00	10.00m³/パルス

注　意
空調料金計算を行う上でパルス定義設定は重要です。
実際の設置状況に合わせて設定する必要があります。詳しくは弊社営業担当またはサービスマンにお問合せください。

(i) 初めて設定する場合

1. [新規]ボタンをクリックして, パルス定数, 電気／ガス種別を入力してください。
   ・[新規]ボタンをクリックすることにより, パルス定数, 電気/ガス種別の設定が初期値に変更されます。
2. [保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。
   ・ファイル保存ダイアログボックスが表示されますので, ファイル名を入力し, [保存]ボタンをクリックして保存してください。ファイルの保存先およびファイル名は任意に変更可能です。
3. [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(ii) 2回目以降

この手順は省略しても構いません。しかし, 各設定内容を毎回チェックすることをお薦めします。設定内容確認後, [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ってください。

(iii) 設定内容を変更する場合

1. [修正]ボタンをクリックして, パルス定義ファイルを選択して, 設定内容を変更してください。
   ・編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。パルス定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。
2. [保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。
3. [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(iv) 2台以上SL4-Bを管理する場合

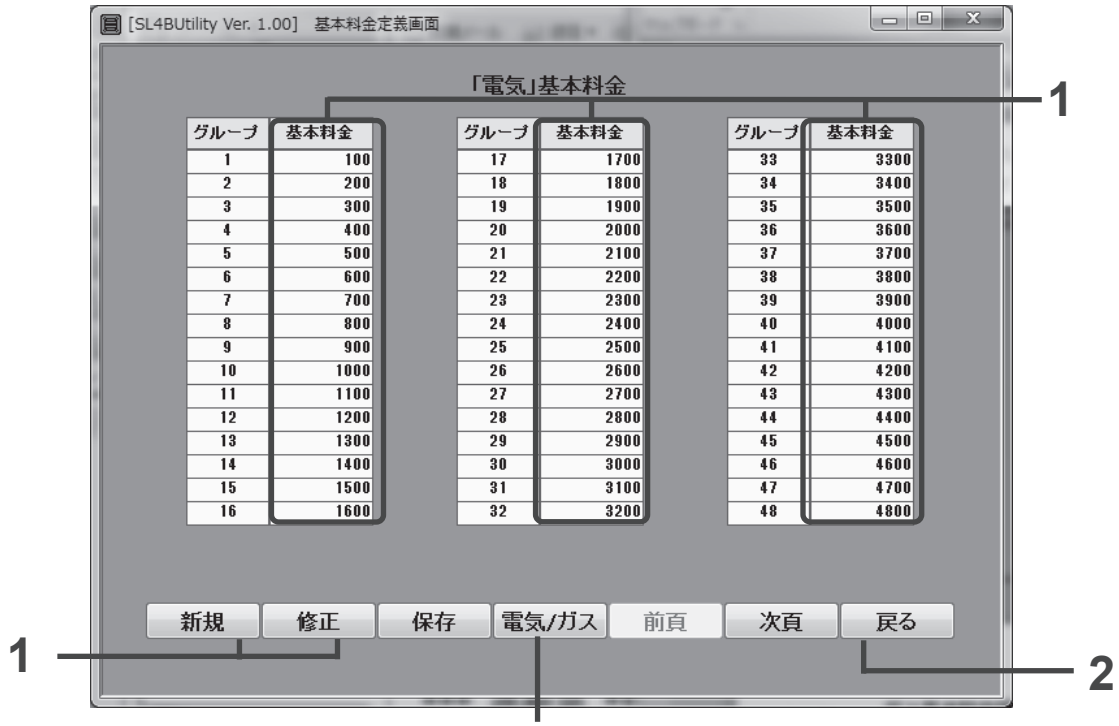
2台以上のSL4-Bを管理する場合は, 各SL4-Bに対応した定義ファイルを作成しておいてください。定義ファイル名は区別できる名前で保存してください。定義ファイルの作成方法は「初めて設定する場合」を参照ください。

1. [修正]ボタンをクリックして, パルス定義ファイルを選択して, 設定内容をチェックしてください。
   ・編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。計算を行うSL4-B用のパルス定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。
2. [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(e) 手順4.　基本料金定義設定

(i) 電気基本料金設定

電気／ガス各々の基本料金をグループ毎に入力します。前回設定・保存したデータを記憶し，起動時に読込みます。



グループ	基本料金	グループ	基本料金	グループ	基本料金
1	100	17	1700	33	3300
2	200	18	1800	34	3400
3	300	19	1900	35	3500
4	400	20	2000	36	3600
5	500	21	2100	37	3700
6	600	22	2200	38	3800
7	700	23	2300	39	3900
8	800	24	2400	40	4000
9	900	25	2500	41	4100
10	1000	26	2600	42	4200
11	1100	27	2700	43	4300
12	1200	28	2800	44	4400
13	1300	29	2900	45	4500
14	1400	30	3000	46	4600
15	1500	31	3100	47	4700
16	1600	32	3200	48	4800

(ii) ガス基本料金設定

グループ	基本料金	グループ	基本料金	グループ	基本料金
1	100	17	1700	33	3300
2	200	18	1800	34	3400
3	300	19	1900	35	3500
4	400	20	2000	36	3600
5	500	21	2100	37	3700
6	600	22	2200	38	3800
7	700	23	2300	39	3900
8	800	24	2400	40	4000
9	900	25	2500	41	4100
10	1000	26	2600	42	4200
11	1100	27	2700	43	4300
12	1200	28	2800	44	4400
13	1300	29	2900	45	4500
14	1400	30	3000	46	4600
15	1500	31	3100	47	4700
16	1600	32	3200	48	4800

《基本料金入力範囲》

範囲	下限	上限
電気基本料金	0円	999,999円
ガス基本料金	0円	999,999円

㈢ 初めて設定する場合

1）[新規]ボタンをクリックして, 電気, ガスそれぞれの基本料金を入力してください。
- [新規]ボタンクリック後, 仕様を決定してください。
- [新規]ボタンをクリックすることにより, 初期値に変更されます。

2）[保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。
- ファイル保存ダイアログボックスが表示されますので, ファイル名を入力し, [保存]ボタンをクリックして保存してください。ファイルの保存先およびファイル名は任意に変更可能です。

3）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

㈣ 2回目以降

この手順は省略しても構いません。しかし, 各設定内容を毎回チェックすることをお薦めします。設定内容確認後, [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ってください。

㈤ 設定内容を変更する場合

1）[修正]ボタンをクリックして, 基本料金定義ファイルを選択して, 設定内容を変更してください。
- 編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。基本料金定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。

2）[保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。

3）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

㈥ 2台以上SL4-Bを管理する場合

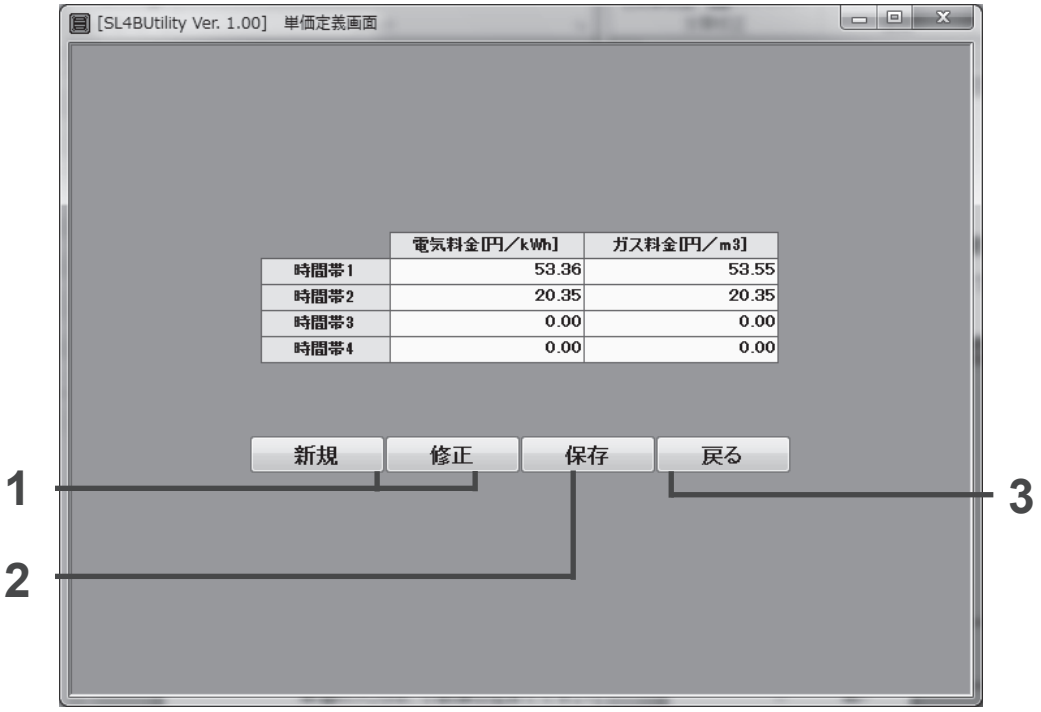
2台以上のSL4-Bを管理する場合は, 各SL4-Bに対応した定義ファイルを作成しておいてください。定義ファイル名は区別できる名前で保存してください。定義ファイルの作成方法は「初めて設定する場合」を参照ください。

1）[修正]ボタンをクリックして, 基本料金定義ファイルを選択して, 設定内容をチェックしてください。
- 編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。計算を行うSL4-B用の基本料金定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。

2）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

（f）手順5.　単価定義設定

電気／ガス各々について, 時間帯1～4料金単価を入力します。前回設定・保存したデータを記憶し, 起動時に読込みます。



単価の入力は, 小数第2位までです。

《単価入力範囲》

範囲	下限	上限
ガス単価	0.00円/m^3	999.99円/m^3
電気単価	0.00円/kWh	99.99円/kWh

(i) 初めて設定する場合

1）[新規]ボタンをクリックして, ガス／電気料金単価を入力してください。
- [新規]ボタンをクリックすることにより, ガス／電気料金単価の設定が初期値に変更されます。

2）[保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。
- ファイル保存ダイアログボックスが表示されますので, ファイル名を入力し, [保存]ボタンをクリックして保存してください。ファイルの保存先およびファイル名は任意に変更可能です。

3）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(ii) 2回目以降

この手順は省略しても構いません。しかし, 各設定内容を毎回チェックすることをお薦めします。設定内容確認後, [戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ってください。

(iii) 設定内容を変更する場合

1）[修正]ボタンをクリックして, 単価定義ファイルを選択して, 設定内容を変更してください。
- 編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。単価定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。

2）[保存]ボタンをクリックして, ファイル名を入力してください。

3）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(iv) 2台以上SL4-Bを管理する場合

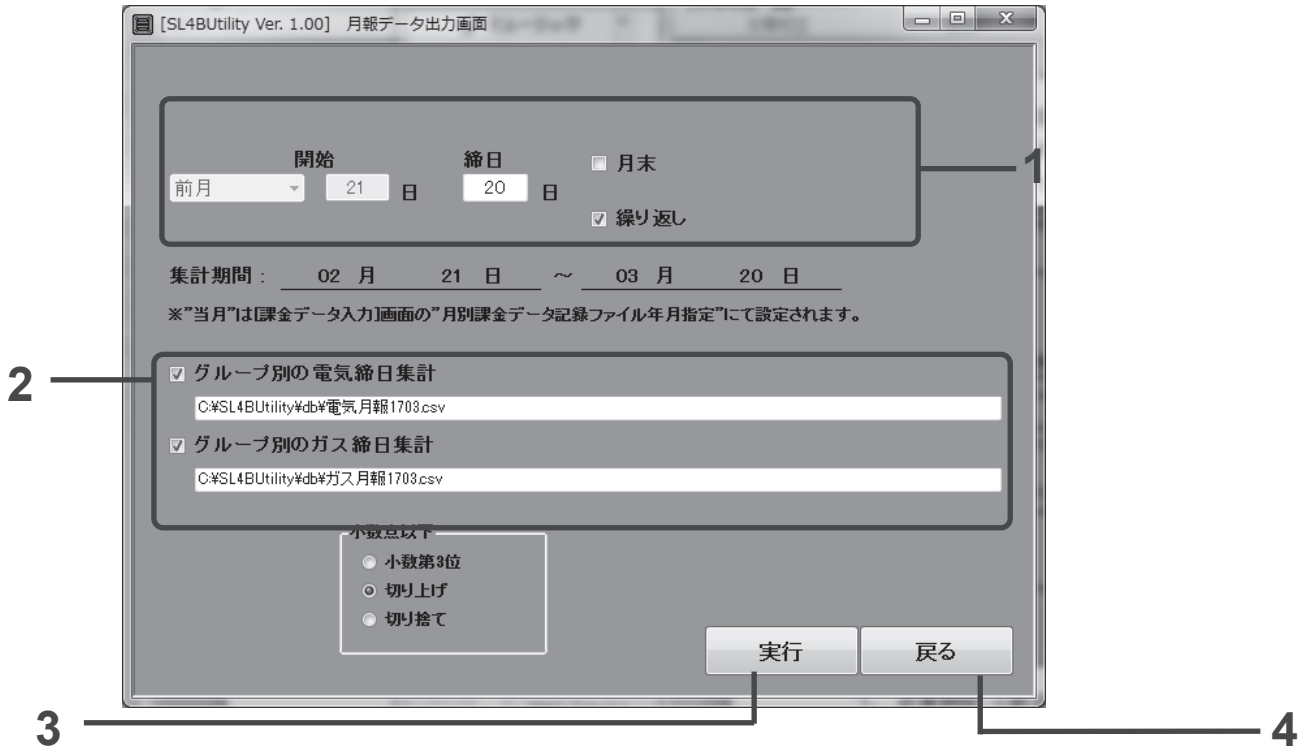
2台以上のSL4-Bを管理する場合は, 各SL4-Bに対応した定義ファイルを作成しておいてください。定義ファイル名は区別できる名前で保存してください。定義ファイルの作成方法は「初めて設定する場合」を参照ください。

1）[修正]ボタンをクリックして, 単価定義ファイルを選択して, 設定内容をチェックしてください。
- 編集ファイル選択ダイアログボックスが表示されます。計算を行うSL4-B用の単価定義ファイルを選択し, [開く]ボタンをクリックしてください。保存先が異なる場合は,「ファイルの場所」を変更して修正するファイルを選択してください。この操作により選択されたファイルの内容が読込まれ, 起動時に読込まれたデータは破棄されますのでご注意願います。

2）[戻る]ボタンをクリックして初期画面に戻ります。

(g) 手順6.　月報データ出力

課金データ入力画面からグループ定義ファイルおよび月別課金データファイルを読込み, パルス系統定義, パルス定数定義, 基本料金, 単価定義にもとづき, 月報データ出力画面で設定されたデータファイル名で課金集計ファイルを作成します。課金集計ファイルの保存先およびファイル名は変更可能です。



1）計算期間, 小数点以下の処理を設定します。

ⅰ）開始月日指定

月報データを出力する期間の開始日を指定します。当月/前月指定コンボボックスで"当月"を選択すると, 課金データ入力画面で指定した年月を開始年月とし, 当月/前月指定コンボボックスで"前月"を選択すると指定年月の前月を開始年月とします。

ⅱ）締日指定

月報データ出力する期間の締日を指定します。

・月末指定

月末指定チェックボックスをONにすると, 月報データ出力する期間を1日から31日とします。

・繰り返し指定

繰り返し指定チェックボックスをONにすると, 締日のみ入力することができます。締日を入力すると自動的に開始日が締日の1か月前に変更されます。

画面例のように20日締め計算の場合は, 2か月分の記録ファイルを集計することになります。SL4-B稼動後最初の月は前月分の記録ファイルが無いため, エラーメッセージが表示されます。集計期間を当月内に設定して集計を行ってください。

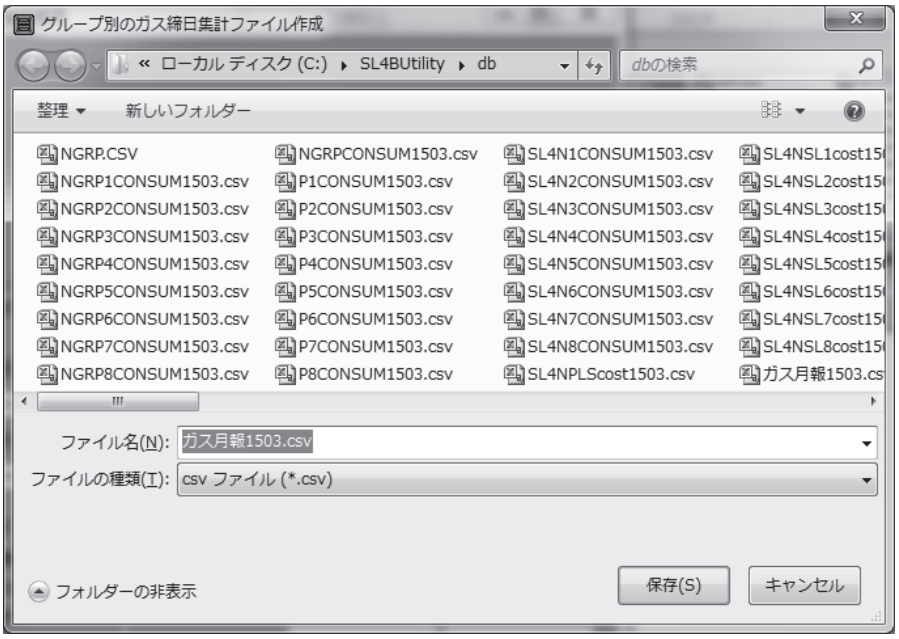
ⅲ）小数点以下ボタン

小数点以下ボタンで"小数第3位"を選択すると, 時間帯1～4料金および基本料金総和で求められる空調料金の小数第3位までを有効桁として計算します。"切り上げ"を選択すると, 小数部は切り上げて計算します。"切り捨て"を選択すると, 小数部は切り捨てて計算します。小数点以下ボタンは必ず一つ選択してください。

2）月報データ集計結果保存ファイル名を設定します。

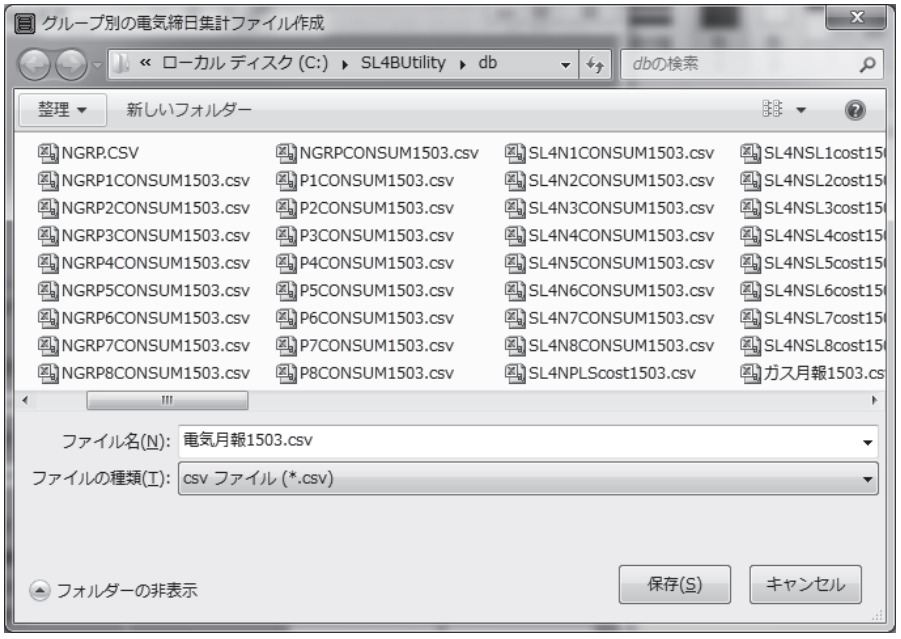
i）[グループ別ガス締日集計チェックボックス]

グループ別ガス締日集計チェックボックス(正方形の枠)をONにすると, ファイル作成ダイアログボックスが表示されるので, 保存先フォルダ名および保存ファイル名を確認し[保存]ボタンをクリックしてください。保存ファイル名は, 課金データ入力画面にて指定された年月により自動生成されます。保存先フォルダ名および保存ファイル名は変更可能です。



ii）[グループ別電気締日集計チェックボックス]

グループ別電気締日集計チェックボックス(正方形の枠)をONにすると, ファイル作成ダイアログボックスが表示されるので, 保存先フォルダ名および保存ファイル名を確認し[保存]ボタンをクリックしてください。保存ファイル名は, 課金データ入力画面にて指定された年月により自動生成されます。保存先フォルダ名および保存ファイル名は変更可能です。



3）[実行]ボタンをクリックしてください。
　実行ボタンをクリックすると入力ファイルから集計計算を行います。
4）集計計算が成功したことを確認してください。その後, [戻る]ボタンクリックします。

集計計算の結果, 計算途中のファイルを以下の通り作成します。通常は参照する必要はありません。これらのファイルは, プログラムインストールフォルダの中の“db”フォルダの中です。

〈新仕様, 旧仕様共通〉
- パルス系統1空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P1CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統2空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P2CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統3空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P3CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統4空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P4CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統5空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P5CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統6空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P6CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統7空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P7CONSUMYYMM.csv）
- パルス系統8空調機別時間帯1～4消費量（ファイル名：P8CONSUMYYMM.csv）

〈新仕様〉
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その1（ファイル名：SL4N1CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その2（ファイル名：SL4N2CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その3（ファイル名：SL4N3CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その4（ファイル名：SL4N4CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その5（ファイル名：SL4N5CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その6（ファイル名：SL4N6CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その7（ファイル名：SL4N7CONSUMYYMM.csv）
- 日毎空調機別運転時間, 消費量その8（ファイル名：SL4N8CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金（ファイル名：NGRPCONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その1（ファイル名：NGRP1CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その2（ファイル名：NGRP2CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その3（ファイル名：NGRP3CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その4（ファイル名：NGRP4CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その5（ファイル名：NGRP5CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その6（ファイル名：NGRP6CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その7（ファイル名：NGRP7CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その8（ファイル名：NGRP8CONSUMYYMM.csv）

※1

〈旧仕様〉
- SL#1日毎空調機別運転時間, 消費量その1（ファイル名：SL4PSL1P1CONSUMYYMM.csv）
- SL#1日毎空調機別運転時間, 消費量その2（ファイル名：SL4PSL1P2CONSUMYYMM.csv）
- SL#2日毎空調機別運転時間, 消費量その1（ファイル名：SL4PSL2P1CONSUMYYMM.csv）
- SL#2日毎空調機別運転時間, 消費量その2（ファイル名：SL4PSL2P2CONSUMYYMM.csv）
- SL#3日毎空調機別運転時間, 消費量その1（ファイル名：SL4PSL3P1CONSUMYYMM.csv）
- SL#3日毎空調機別運転時間, 消費量その2（ファイル名：SL4PSL3P2CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金（ファイル名：GRPCONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その1（ファイル名：GRP1CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その2（ファイル名：GRP2CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その3（ファイル名：GRP3CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その4（ファイル名：GRP4CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その5（ファイル名：GRP5CONSUMYYMM.csv）
- グループ別締日期間運転時間, 消費量, 電気・ガス空調料金その6（ファイル名：GRP6CONSUMYYMM.csv）

※2

YYMMは指定した年月となります。
上記のファイルは年に1回程度の目安で削除してください。ハードディスク容量が不足する可能性があります。

※1　ファイル名NGRPCONSUMYYMM.csvを分割したものがその1～その8のファイルです。
※2　ファイル名GRPCONSUMYYMM.csvを分割したものがその1～その6のファイルです。
※3　Microsoft®社製Excel®にてCSV形式のファイルを扱う場合に，横方向256列しか表示できない場合は，Excel®にて分割し読み出す必要があります。詳細は付録2〈46ページ〉を参照してください。

付録１　月報データ出力イメージ

※小数点以下オプションボタンで”小数第3位”を選択

***図¥SL4BUtility¥db¥電気月報1712.csv図12/01 - 12/31)

グループ番号	グループ名称	運転時間1[H]	運転時間2[H]	運転時間3[H]	運転時間4[H]	電力量1[kWh]	電力量2[kWh]	電力量3[kWh]	電力量4[kWh]	電力料金1[円]	電力料金2[円]	電力料金3[円]	電力料金4[円]	電気基本料金[円]	電気空調料金[円]
1	0	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	2958.16
2	1	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	2958.16
3	2	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	2958.16
4	3	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	2958.16
5	4	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	2958.16
6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
10	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
12	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
14	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
16	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
17	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
19	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
20	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
21	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
23	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
24	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
25	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
26	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
27	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
28	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
29	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
30	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
32	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
33	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
34	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
35	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
36	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
37	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
38	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
39	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
40	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
41	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
42	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
43	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
44	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
45	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
46	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
47	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
48	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
49	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
50	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
51	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
52	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
53	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
54	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
55	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
56	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
57	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
58	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
59	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
60	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500

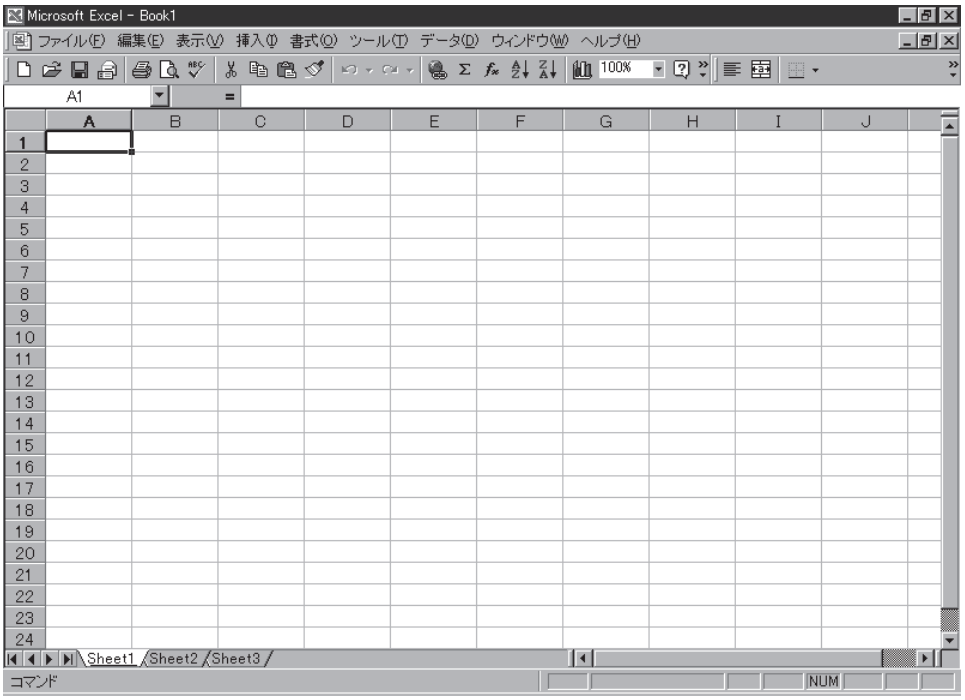
※小数点以下オプションボタンで“切り上げ”を選択

***□¥SL4BUtility¥db¥電気月報1712.csv□12/01 - 12/31)

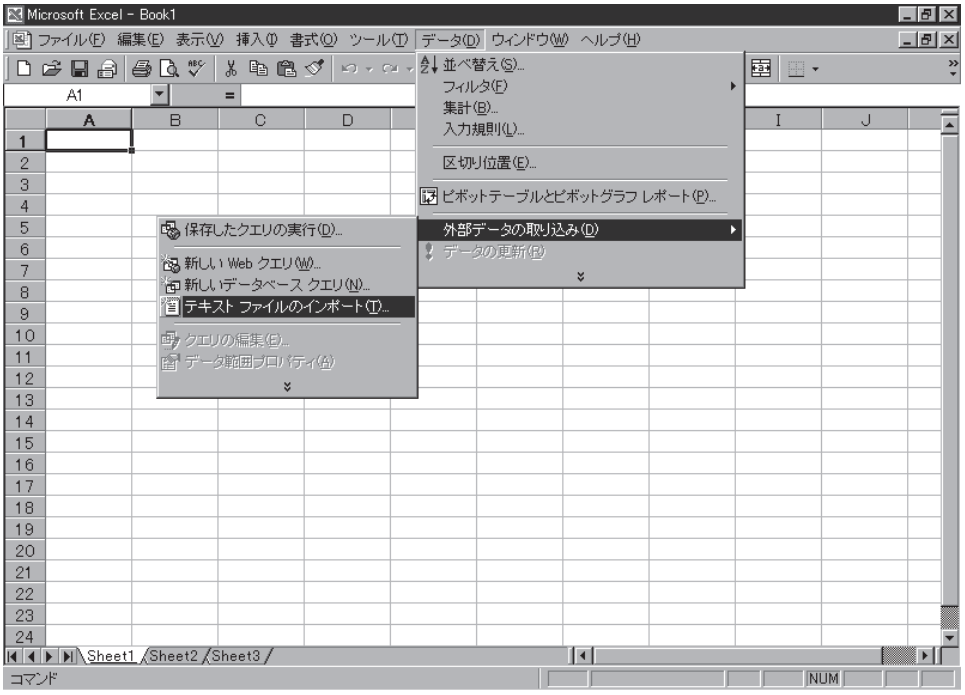
グループ番号	グループ名称	運転時間1[H]	運転時間2[H]	運転時間3[H]	運転時間4[H]	電力量1[kWh]	電力量2[kWh]	電力量3[kWh]	電力量4[kWh]	電力料金1[円]	電力料金2[円]	電力料金3[円]	電力料金4[円]	電気基本料金[円]	電気空調料金[円]
1	0	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	29582
2	1	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	29582
3	2	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	29582
4	3	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	29582
5	4	2	2	2.3	2	409.6	819.2	409.6	819.2	4096	9093.1	4997.1	10895.4	500	29582
6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
10	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
12	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
14	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
16	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
17	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
19	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
20	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
21	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
23	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
24	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
25	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
26	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
27	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
28	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
29	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
30	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
31	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
32	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
33	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
34	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
35	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
36	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
37	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
38	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
39	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
40	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
41	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
42	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
43	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
44	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
45	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
46	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
47	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
48	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
49	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
50	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
51	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
52	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
53	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
54	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
55	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
56	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
57	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
58	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
59	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500
60	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	500

付録２　Microsoft® 社製 Excel® での CSV ファイル分割表示方法

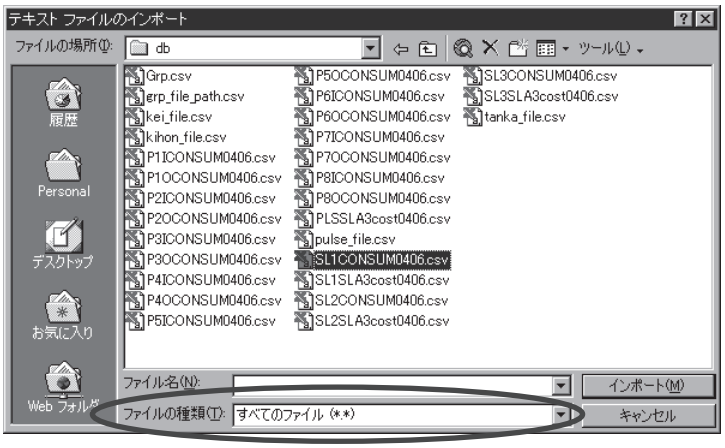
1）新規シートを開き, 入力させる位置にカーソルを移動させます。



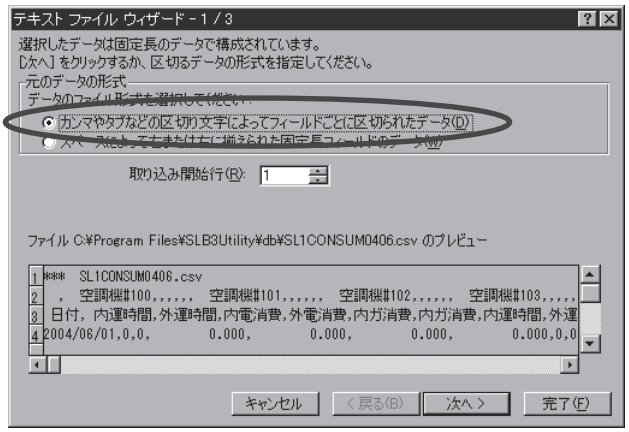
2）メニューバーにある“データ-外部データの取り込み-テキストファイルのインポート”を選択してください。



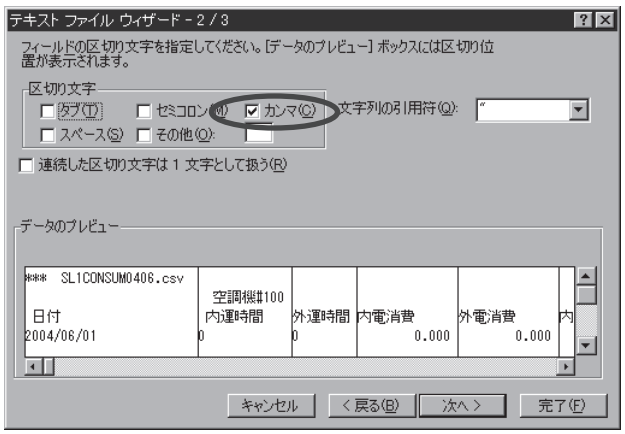
3）テキストファイルのインポートダイアログボックスが表示されるので, ファイルの種類を“すべてのファイル(*.*)”として, 入力するCSVファイルを選択し, インポートをクリックしてください。



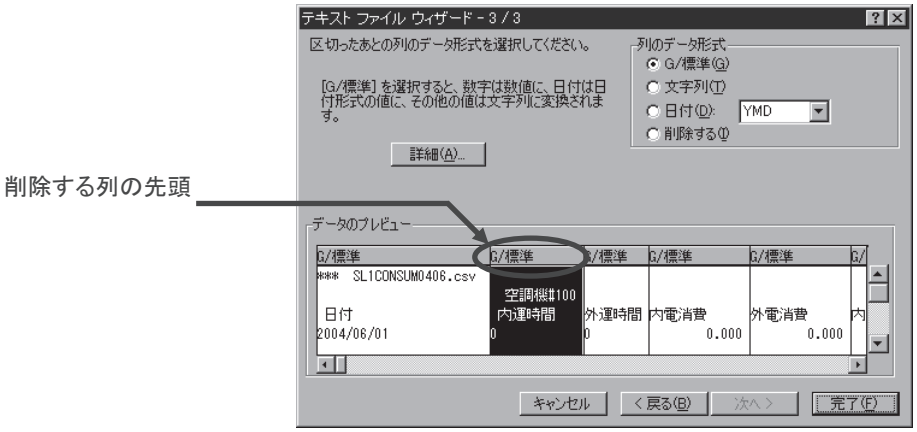
4）テキストファイルウィザード1/3ダイアログボックスが表示されるので, “カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)”を選択し, [次へ >]ボタンをクリックしてください。



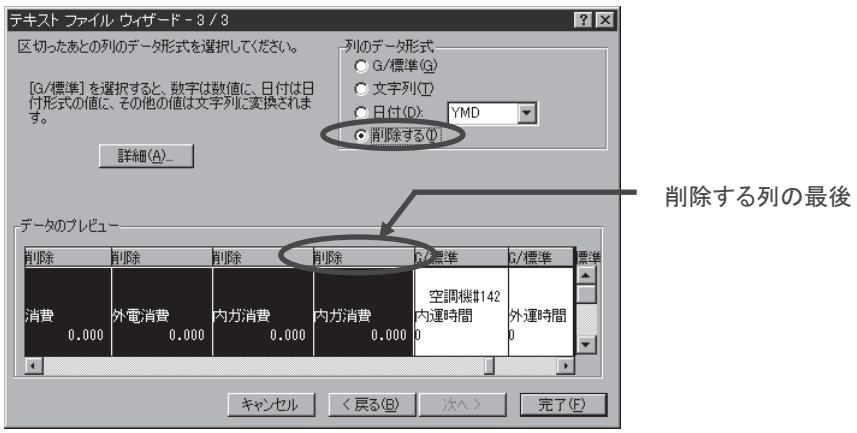
5）テキストファイルウィザード2/3ダイアログボックスが表示されるので, 区切り文字で“カンマ(C)”を選択し, [次へ >]ボタンをクリックしてください。



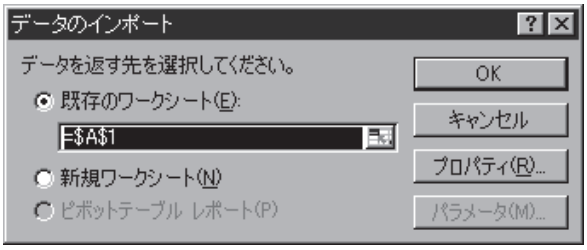
6）テキストファイルウィザード3/3ダイアログボックスが表示されるので, データのプレビューから削除する列の先頭を選択ししてください。



7）データのプレビューから削除する列の最後を[Shift]を押しながら選択してください。列のデータ形式で“削除する(I)”を選択し, [完了(F)]ボタンをクリックしてください。



8）データのインポートダイアログボックスが表示されるので, 何も変更せずに, [OK]ボタンをクリックするとファイルを開くことができます。



1.11 各ユーティリティソフトと適用機種一覧

(1)定義ファイル作成ソフト

対応機種 / ユーティリティソフト	SC-SL4-A/A または SC-SL4-B/A	SC-SL4-A/B または SC-SL4-B/B	SC-SL4-A/C または SC-SL4-B/C
SL4V2Utility	×	◎	※
SL3N Utility	○	△	△

(2)課金計算ソフト

対応機種 / ユーティリティソフト	SC-SL4-B/A	SC-SL4-B/B	SC-SL4-B/C
SL4BUtility	×	◎	◎
SL3N-B Utility	◎	×	×

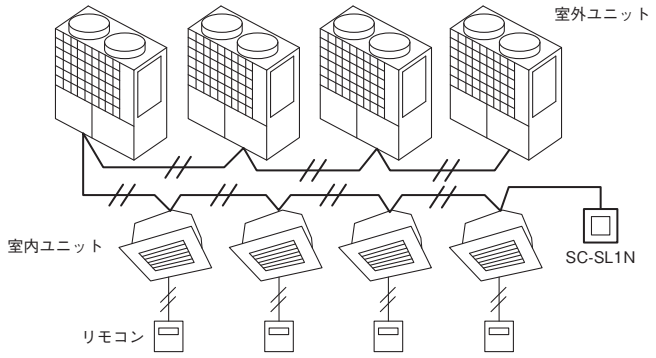
(3)OSとの互換性

適用OS / ユーティリティソフト	Windows®7 (Service Pack 1 以降)	Windows®8.1	Windows®10
SL4V2Utility	◎	◎	◎
SL4BUtility	◎	◎	◎
SL3N Utility	◎	◎	◎
SL3N-B Utility	◎	◎	×

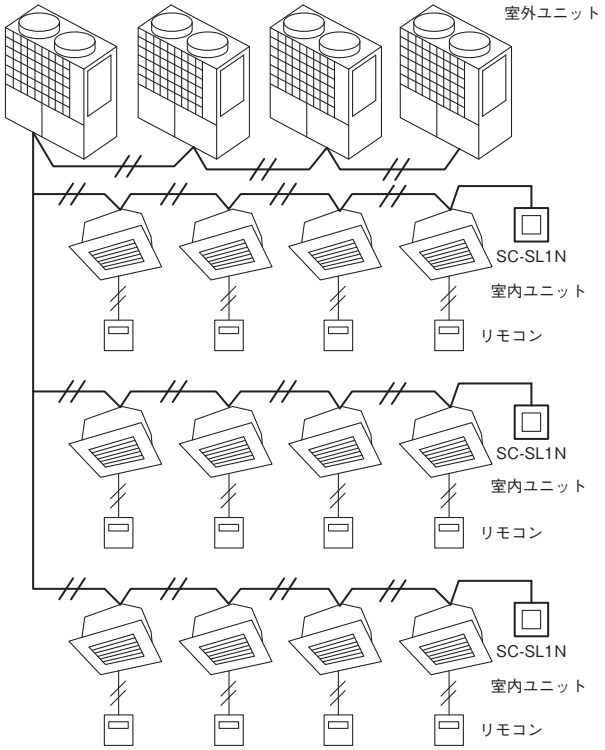
◎:使用可
×:使用不可
○:使用可。但し, 一部機能に制限有。
風量パワフル(4速), 風量自動は無効。有効にする場合はSL4で設定してください。
デマンドONとすると, SL4ではデマンドレベル１となります。
※:使用可。但し, デマンド定義はSL4本体で設定してください。
△:風量パワフル（4速）は無効。全グループ3速設定となります。1速, 2速, 4速設定はSL4で設定してください。
風量自動は無効。有効にする場合はSL4 本体で設定してください。
デマンドONとすると, SL4ではデマンドレベル１となります。
最大ブロック数は16です。17以上（最大20）はSL4本体で設定してください。
ブロック内構成最大グループ数は９です。10以上（最大12）はSL4本体で設定してください。
「時間内」の時刻設定内容は,「時間帯１」の時刻設定内容となります。
SC-SL4-A/B, SC-SL4-B/B, SC-SL4-A/CまたはSC-SL4-B/Cから出力した定義データは編集できません。

2. 接続例

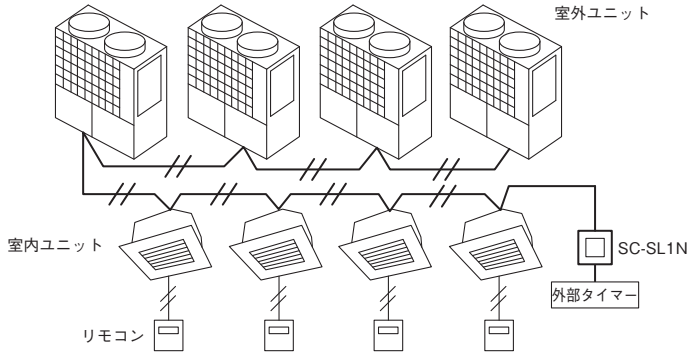
例1:センターコンソールSC-SL1N 1台で個別または，同時に室内ユニットを最大16台まで発停制御が可能です。ただし，リモコンとの併用が必要です。



例2:1ネットワークにSC-SL1Nを複数使用可能です。（オフィスビル等各階毎に制御することができます。）

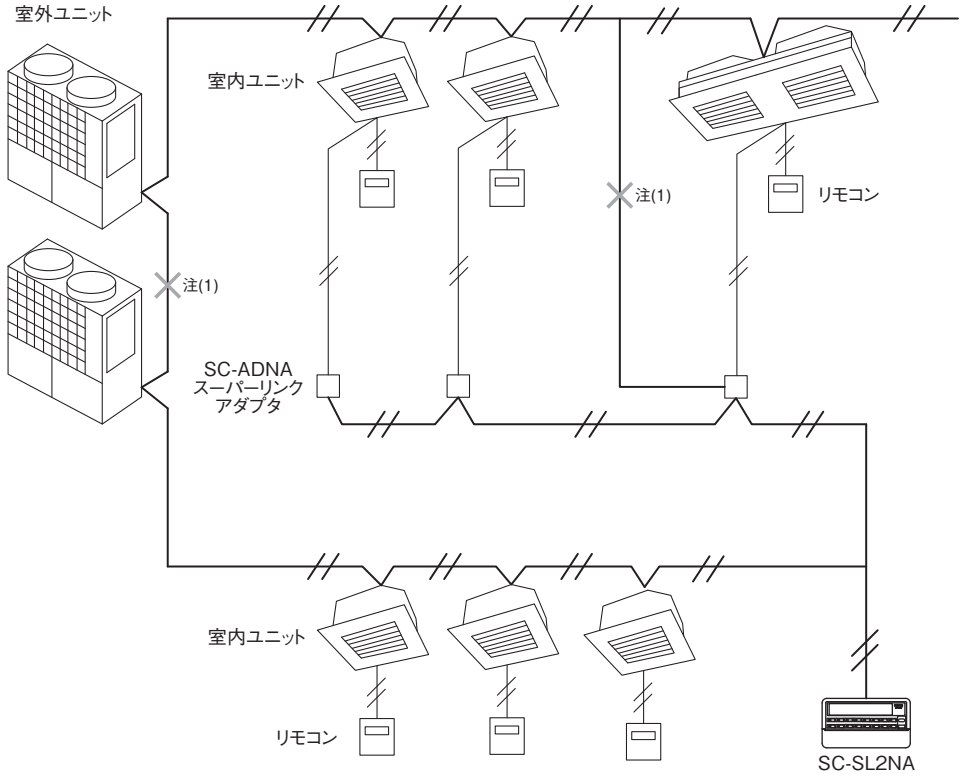


例3:センターコンソールSC-SL1Nには外部タイマー等により外部発停が可能です。制御対象室内ユニットすべてが同時刻に発停を行います。



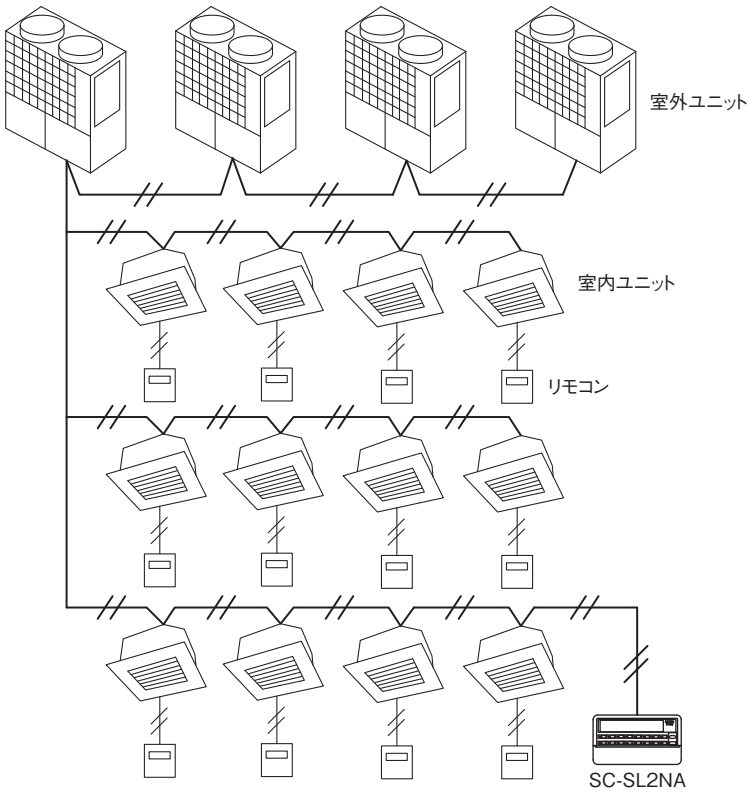
例4:FDT8,10馬力をスーパーリンクに接続する場合は，スーパーリンクアダプタを使用してください。 また，FDT8，10馬力と同一室外ユニット系統の室内ユニットもスーパーリンクアダプタを使用してください。

注(1) 他のマルチ室外ユニット系統と同一ネットワークで接続する場合は室内外通信線同士を接続しないでください。

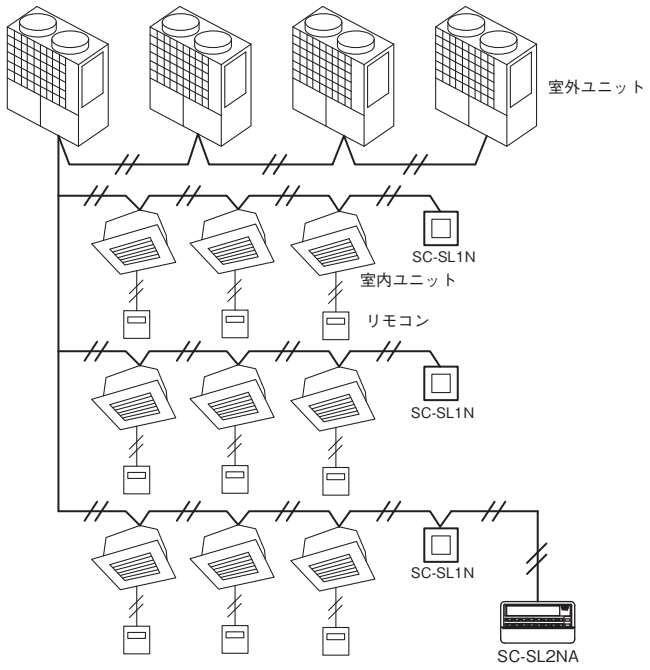


例5:センターコンソールSC-SL2NA 1台で室内ユニット最大64台まで個別・グループ毎・同時発停・温度設定・風量設定等が可能です。グループは最大16グループまで設定可能です。

注(1) リモコンの一部または全部を省略できます。



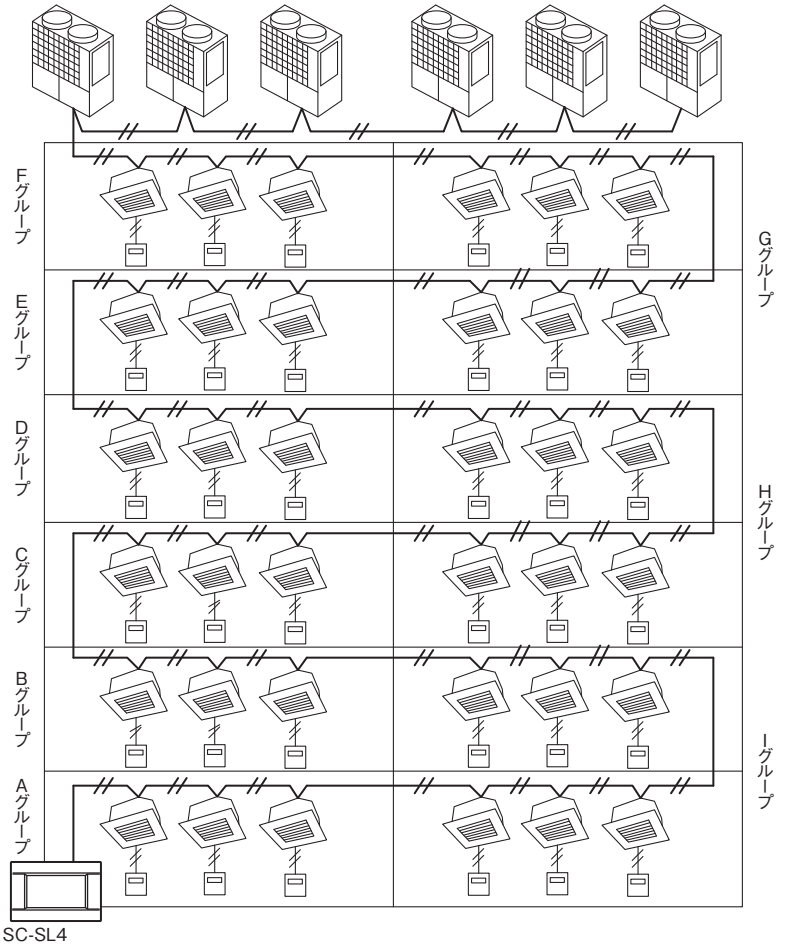
例6:1ネットワーク(室内ユニット最大128台)にSC-SL2NAを複数接続可能です。また，SC-SL1Nとの混在も可能ですので，SC-SL2NAで集中管理を各階の発停についてはSC-SL1Nで行うことも可能です。



例7:センターコンソールSC-SL4により任意に設定した，最大128グループを各グループ毎に制御します。

注(1) スーパーリンク上に2個のセンターコンソールSC-SL4を接続できます。

(2) リモコンの一部または全部を省略できます。



三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒108-8215　東京都港区港南2-16-5
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023　東京都港区芝浦2-11-5

●製品の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。